神奈川県病院協会會報

第53号

●2023.3●

これからの医業経営へ、「信頼」で結びたい。

医療・保健・介護・福祉施設が抱えるあらゆる課題を、資格認定されたコンサルタントが解決します。

『認定登録 医業経営コンサルタント』は、医業経営に携わる方々が直面する課題に的確・迅速に対応するため、所定の継続研修を履修し、常に資質の向上を図っています。

公益社団法人
日本医業経営コンサルタント協会

神奈川県支部 支部長 山田 修

支部 〒252-0335 神奈川県相模原市南区下溝4378(株式会社オカエ相模原営業所内) TEL:042-778-2067 FAX:042-778-2012 https://www.jahc-kanagawa.org

本部 〒102-0075 東京都千代田区三番町9-15ホスピタルプラザビル5階 TEL:03-5275-6996 FAX:03-5275-6991 https://www.jahmc.or.jp

神奈川県病院協会會報

目次

第53号

巻頭言 …… 1
withコロナ時代に民間中規模急性期病院経営は無理ゲーか？
神奈川県病院協会　副会長　菅　泰博
行事 …… 4
・新江良一先生を偲ぶ会
・第41回神奈川県病院学会
・2022年度事務長等表彰
・神奈川県看護師等養成実習病院の実習指導者表彰
随想 …… 15
働き方改革に提言
公益社団法人横浜市病院協会　会長　松井 住仁
厚木病院協会会長に就任して ～県央地区の医療の現状と課題～
厚木病院協会　会長　杉山 肇
就任のご挨拶
大和・高座病院協会　会長　島﨑 猛
神奈川県看護部長会 これから先は…“コロナ禍の看護管理から学んだこと”
神奈川県看護部長会　会長　本舘 教子
タスク・シフト／シェアによる「告示研修」への取り組み
公益社団法人神奈川県放射線技師会　会長　田島 隆人
タスク・シフト／シェアにおいて臨床検査技師および神奈川県臨床検査技師会の活動
一般社団法人神奈川県臨床検査技師会　会長　芹澤 昭彦
動画サイト
神奈川県病院協会　常任理事　太田 史一
奥の細道に触れて
済生会神奈川県病院　事務部長　武田 朋久
会員病院・賛助会員紹介 …… 30
（新築など）　松島病院
聖マリアンナ医科大学病院
湘南鎌倉総合病院
長岡病院
湘陽かしわ台病院
海老名総合病院
永井病院
（賛助会員）　あかつきリアルエステート株式会社
望星サイエンス株式会社
株式会社神医社
株式会社ブレイン・サプライ
マーシュジャパン株式会社
株式会社柴橋商会
山王総合株式会社
株式会社日本医療企画
日本光電工業株式会社 首都圏GP支店
株式会社３Sunny
編集後記 …… 55
神奈川県病院協会　理事　鳴海 裕之

表紙写真

「ミコアイサ」巫女秋沙 Mergellus albellus　英名 Smew
カモ目カモ科ミコアイサ属の渡り鳥。全長約40㎝、体重約1kg。
眼の周囲や後頭部に黒い斑紋が入り、俗称パンダガモとも呼ばれる。
ユーラシア大陸亜寒帯のタイガで繁殖し、冬季に南下し、日本に渡来。
九州以北の湖沼・河川・湾にて越冬する。
横浜市金沢区の長浜公園で撮影：神奈川県病院協会 常任理事　長倉 靖彦

巻頭言

withコロナ時代に民間中規模急性期病院経営は無理ゲーか？

神奈川県病院協会　副会長
（麻生総合病院　理事長兼病院長）
菅　泰博

「無理ゲー」と言うSNS上で使われている言葉の意味をご存知だろうか？

意味としては、

「デフォルトの設定上、攻略することが極端に難しいゲームを意味する語。そこから、現実における乗り越え難い困難をゲームになぞらえて無理ゲーと呼ぶこともある。」

（Weblio辞書より）

当院は民間の中規模急性期、正確に言えばケアミックス病院（199床の内訳はHCU８床、一般急性期141床、地域包括ケア病棟50床）であるが、経営していると時折これは「無理ゲー」なのかもしれないと感じることがある。自分の性格上、基本的にはポジティブシンキングを是としているので泣き言は言いたくはないが、なかなか厳しい現状を目の当たりにすると「これは乗り越え難い困難なゲーム」と思わざるを得ない時もある。withコロナ時代における現状と課題、その解決策？を述べたいと思う。

当院は第７波までは神奈川県モデルの重点医療機関としてコロナ専用病棟（30床）で積極的な受入を行ってきたが、オミクロン株の重症化率や死亡率が低いことを鑑み、第８波が始まる前の11月から重点医療機関協力病院としてコロナ専用病棟を中止し、これまでコロナ受入のため空床としていた17床を全てオープンした。一般患者を最大限受入可能な体制とし、コロナは各病棟の個室で空いていれば対応するという方針である。コロナ専用病棟を中止したもう一つの理由は、「2019年の医業収入×1.2＜2022年の医業収入＋補助金」となったためだ。当院はHCUを除くと４病棟しかないため、１つコロナ専用病棟をつくって対応すると経営に大きなインパクトを与えてしまう。これまでコロナ受入と一般診療の両立を一生懸命にやってきた結果が補助金打ち切りとは本当に残念だ。国が定めたルールなので仕方ないが、他の基幹病院と比べても遜色のない受入実績があるのに、同じことをして同一の評価（補助金）が得られないことに憤りを感じながらコロナ以外の患者の受入に注力する方針とした。この冬の搬送困難事例の７～８割はコロナ以外の患者であったた

め、結果的には地域医療に最大限貢献出来たのは良かったと判断しているが･･･。このように中規模急性期病院はコロコロ変わる国の方針に翻弄され舵取りが難しいときがある。

１月26日に政府は「５月８日に５類感染症にする」と発表したが、海外では新たな変異株が発見され、感染力を増したウイルスは体力のない高齢者を衰弱させて救急医療を逼迫させていると聞く。このような例からも５類に落とせばコロナ流行期の病床逼迫が改善されるとは考えにくい。このような中で民間の中規模急性期病院はwithコロナ時代をどう生き残っていけば良いのだろうか？経営上の問題点を以下に列挙する。

○厚生行政的なリスク、物価高と資源高

補助金等がなければ2022年は比較的厳しい経営状況であったが、国の財源の問題やコロナが５類感染症に変更される事により今後補助金等は期待できない。また2024年４月の診療報酬改定では、会計検査院の幽霊病床調査などによって「コロナ補助金の貰いすぎ」が問題となり病院に対する心象も悪く、プラス改定は望みが薄いだろう。またガス・電気代の上昇に対して県からありがたい支援金を頂いたが、１年間の値上がり分をすべて賄補える額ではない。更に食材費や医療機器・医療材料も上昇しているが診療費に価格転嫁することもできずコストの増大は不可避となっている。

○人件費の高騰と人材確保難

職員数は2023年１月１日時点では462名（内医師42名）と病床数の割には比較的多い方と認識している。人件費は2021年比で約5000万円増、人件費率は約60％と高止まりしている。また少子化で医療・介護職を希望する若者自体の数も減少し、賃金を上昇させなければ人材確保がままならない状況になりつつある。特に看護補助者は看護師よりも採用が困難な現状があり、これは急性期病院に限らず同一法人内の回復期病院や外部の療養型の病院でも深刻な問題となっている。

○医師の働き方改革に関して

医師の働き方は2024年４月に施行予定であるが、当院のように２次救急受入台数が比較的多い医療機関（2022年は3800台）は宿直許可申請ができず勤務扱いとなるため、夜勤医師の確保が多数必要となる。これも人件費増の原因の一つだが、体制維持のためには止めるわけにはいかない。現状は外部医療機関にアルバイトと言う形でご支援いただいているが､彼らの派遣元病院が引き上げるという判断をした場合はこの体制が維持できなくなる。必然的に救急受入れを縮小せざるを得なくなり、病院の収益減少は免れないし、地域の救急医療体制に影響が出かねない。

○一部の建物の老朽化と建替えの必要性

1982年開院時の建物（築40年）が残っており、耐震基準は満たされているが、老朽化が

進みメンテナンス費用が嵩んでいる。またロシアによるウクライナ侵攻の影響で天然資源が不足し建築資材が値上がり、人件費高騰も相まって建築費総額が2011年比で1.3倍程度に跳ね上がっている。2024年の建築現場作業員などの働き方改革による人材不足や建築費が高騰することが予測され、建て替えが困難な状況が続く。

結局は「ヒト」「モノ」「カネ」の話に集約されるのだが、この状況ではいつか本当に「無理ゲー」が「ゲームオーバー」となってしまう。自助努力として具体的な解決策と考えられることは、病床の稼働率・回転のUP、手術室の稼働率UP、平均在院日数の短縮などはどこの急性期病院でも取り組んでいると思われるが、院内の保険診療のみではいずれ限界に達する。そこで、以下を提案したい。

1．診療報酬のプラス改定が期待できないのであれば、それ以外の収入源を確保する必要がある。美容やアンチエイジング、再生医療（比較的手ごろなPRP療法等）自費診療や健（検）診事業はこれからの健康長寿の推進に寄与し、診療報酬とは別の収入源となる。

2．病院が行う在宅診療もニーズがあると考える。当院も在宅診療を行っているが、他の在宅医療機関と差別化できる点としては入院ベッドを有していることである。これは在宅医と患者双方の安心に繋がっていると判断している。在宅診療は地域包括ケア病棟管理料１の施設基準においては必須でもあるが、まだまだ拡大していく余地はあると考えている。

これだけで民間の中規模急性期病院の経営が大幅に改善するとは思えないが、解決策をどうするか悩んでいても、当院の力だけで解決できることは少ないと感じる。自助努力できることは精一杯やった上で、我々医療団体が行政や政治家に働きかけ続けることが必要ではないだろうか。多少「無理ゲー」でも地域から求められる役割を果たすため可能な限り努力し続けたいと思う。

新江良一先生を偲ぶ会

○日　時　2023年2月1日（水）　17時～
○場　所　横浜ベイホテル東急　地下2階
　　アンバサダーズボールルーム
　　クイーンズグランドボールルーム

約300人の参列をいただき、しめやかに執り行うことができました。誠にありがとうございました。

コロナ禍にあって、この３回忌の時期になりましたが、時間を経て、なお、前会長のコロナとの闘いに思いを致しつつ、その中で、急逝された先生を改めて悼む時間を共有させていただきました。（合掌）

第１部

開式のことば（長堀　薫 副会長）

司会　三角　隆彦 常任理事

弔　辞

島村　大　参議院議員

土井　隆典　神奈川県議会議員

相澤　孝夫　日本病院会　会長

葦沢　龍人　東京医科大学 名誉教授

黒岩　祐治　神奈川県知事

第１部会場

親族代表挨拶（新江　友子）

献　花

第２部

献杯（長倉　靖彦 常任理事　第六代会長）

司会　太田　史一 常任理事

バイオリン演奏（新江　慎太郎）

第２部会場

お別れのことば

中澤 よう子　神奈川県　医務監

菊岡　正和　神奈川県医師会　会長

花井　惠子　神奈川県看護協会　前会長

森山　浩　金沢文庫病院　病院長

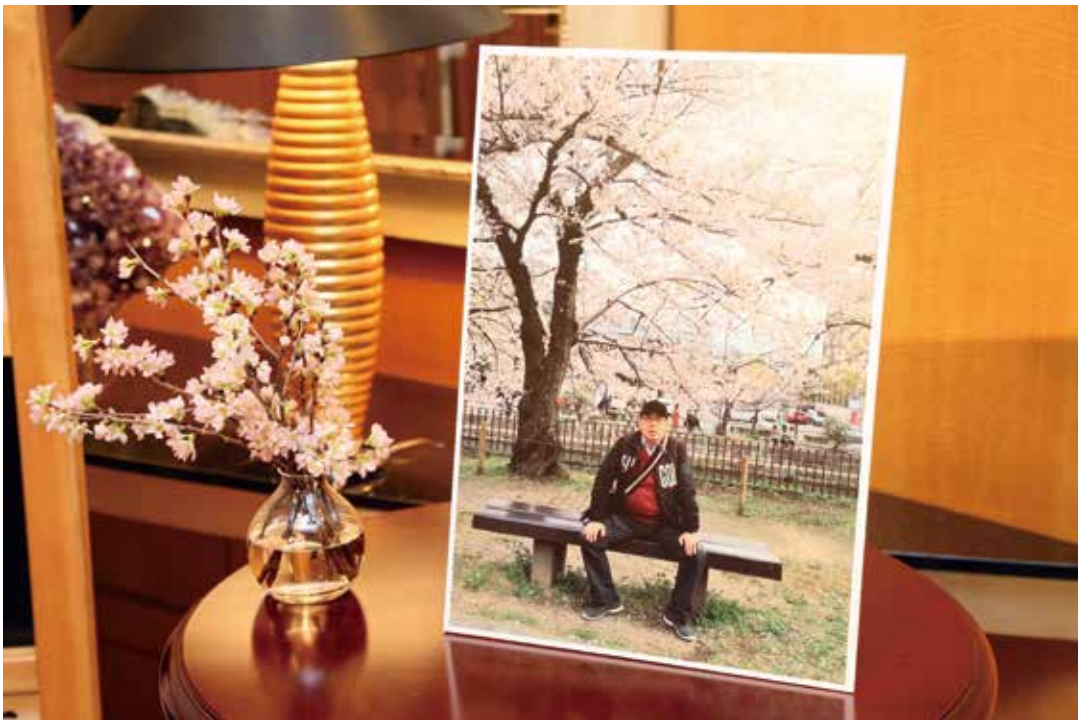
発起人　菅　泰博　副会長

発起人　小松幹一郎　副会長

発起人　窪倉　孝道　副会長

挨拶（吉田　勝明 会長）

会場にはメモリアルコーナーが特設され、叙位叙勲の位記と勲記や写真パネルなどが展示され、故人の業績と遺徳を偲びました。



新江良一先生　安らかにお休みください。

第41回神奈川県病院学会

◆テ ー マ　「病院の働き方改革／コロナ時代の地域医療」

◆開催状況

2022年10月５日(水)　14：00～17：00

神奈川県総合医療会館７階大講堂においてハイブリッド開催（収録＋WEB配信）

2022年10月５日～11月２日

神奈川県病院協会ホームページからのWEB配信

（10月５日の実地開催の動画及び一般演題のスライド動画を配信）

◆参 加 者

・当日会場参加者　57人

・当日WEB視聴者数　68人（Zoomウェビナー参加者）

・後日WEB閲覧者　延べ　45人（オンデマンド）

・一般演題閲覧数　延べ 515人

吉田学会長挨拶

◆内　容

〇特別講演

１「待ったなしの医師の働き方改革～押さえておきたい３つのポイント～」

講　師：ハイズ株式会社代表／慶應義塾大学大学院特任教授　裵　英洙

２「地域救急隊を巻き込んだ救急医療DXの最前線」

講　師：TXP Medical株式会社代表取締役／救急集中治療医　園生　智弘

〇シンポジウム

座　長：副会長（学術委員会委員長）

横須賀共済病院病院長　長堀　薫

テーマ：「目前に迫った病院の働き方改革」

シンポジスト（上記の特別講演者を含む計5名）

副会長／医療法人社団総生会理事長、麻生総合病院病院長　菅　泰博

神奈川県立よこはま看護専門学校学校長　長岡　美穂

〇一般演題　全34演題（ホームページにてスライド動画を配信）

〇学会長表彰　※別途、一般演題優秀演題者５名に対しての表彰を12月21日に実施。

【特別講演】

ハイズ株式会社代表／
慶應義塾大学大学院特任教授
裵　英洙

TXP Medical株式会社代表取締役／
救急集中治療医
園生　智弘

【シンポジウム】

座長
副会長（学術委員会委員長）
横須賀共済病院 病院長
長堀　薫

副会長／医療法人社団
総生会理事長
菅　泰博

神奈川県立よこはま
看護専門学校学校長
長岡　美穂

【学会長表彰（一般演題優秀演題者）】

受賞者	所　属	演題名
宇津宮　薫 （看護師）	聖マリアンナ医科大学病院 （メディカルサポートセンター）	病棟退院支援ナースの育成
宮澤　僚 （理学療法士）	昭和大学藤が丘 リハビリテーション病院 （リハビリテーションセンター）	横浜市における心臓リハビリテーション継続に向けた地域スポーツ施設連携の取り組み
宮川　優也 （事務）	平塚市民病院 （病院総務課）	当院の医師働き方改革推進について
金城　悠貴 （事務）	済生会横浜市東部病院 （事務部医事企画室）	施設基準管理担当者の育成事例
大森　俊和 （薬剤師）	川崎幸病院 （薬剤部）	川崎幸病院での睡眠･せん妄に関する意識改革　～せん妄対策チームの介入　薬剤師編～

2022年度神奈川県病院協会 事務長等表彰　受賞者決定

当協会では病院の職責に尽力されている事務長等の方々の功績を讃えるため、平成10年度より標記表彰事業を開始し、本年度は３名の方が受賞されました。

趣　旨
　会員病院における事務長等に対し、永きにわたり病院の運営に尽力され、かつ協会の発展のために功績があったことを讃える。
　事務長又はこれと同等の職にある者にあっては、神奈川県内の事務長等が、通算10年以上で、特に功労のあった者
　その他、県病院協会、地区病院協会等への功績が顕著であった者。

受賞者　３名　（氏名五十音順）

渕野辺総合病院　武田　匡弘

　この度の表彰大変光栄に思っております。思えば病院に勤務して35年が経ちました。その間、医療法・医療制度等が目まぐるしく変わりましたが、若い頃から大先輩の事務長に言われ続けた事は、「医療は患者さん中心であること。事務職員として患者さんのために何が出来るのか常に念頭に置いて行動実行するように」でした。
　この言葉を胸にこれからも患者さんのために事務職として邁進して行きたいと思います。ありがとうございました。

たま日吉台病院　細谷　実知博

　この度は、神奈川県病院協会のこのような賞を頂戴しまして心より感謝申し上げます。
　仕事を楽しむという精神で病院業務一筋、スタッフにも恵まれ、今まで勤めることができました。
　これを糧にまだまだ頑張る所存です。

新中川病院　松田　隆

　この度は、大変名誉ある賞を頂き感謝しております。
　むろん、私ひとりの力ではなく上司や諸先輩のご指導、支えてくれた同僚、部下達の協力があってこそであると改めて感じております。
　このような賞を頂ける当法人の職場の雰囲気にも感謝の意をこの場を借りて伝えたいと思います。

＊表彰状授与式は３月１日（水）に実施いたします。実施模様は會報で改めてご報告いたします＊

神奈川県看護師等養成実習病院連絡協議会
2022年度神奈川県看護師等養成実習病院の指導者表彰式

○日　　時　　2022年８月10日（水）　15時30分　神奈川県総合医療会館７階講堂

○趣　　旨　　看護実習生の教育に尽力されている実習指導者で、県内の臨地実習指導に、通算10年以上従事し、特に功労のあった者の功績を讃える。

○受 賞 者　　６名　（施設名五十音順）（指導歴）

大船中央病院	山　上　奈保美
小澤病院	加　藤　美　央
川崎市立多摩病院	佐々木　美佐子
総合川崎臨港病院	阿　部　弘　子
横須賀共済病院	川　北　真理子
横浜中央病院	細　谷　順　子

次　　第

○表彰状・記念品授与

表彰者　神奈川県　健康医療局長　山田　健司

神奈川県看護師等養成実習病院連絡協議会　会長　長堀　薫

○祝　　辞　　神奈川県　健康医療局長　山田　健司

神奈川県看護師等養成実習病院連絡協議会　会長　長堀　薫

○受賞者挨拶

○記念撮影

表彰状・記念品授与

祝　辞

受賞者挨拶

本年度は受賞者と関係者とともに、実地で表彰式を開催することができました。表彰式は、オンラインでも同時配信を行い、多くの方にご覧いただけました。

随 想

働き方改革に提言

公益社団法人横浜市病院協会　会長
（神奈川県病院協会　常任理事、長田病院　理事長）
松井　住仁

2024年４月から医療界も働き方改革が始まる。いよいよ待ったなし。各病院もすでに対応を始めていることと思う。各病院は自分の病院のスタッフ、医師の労働時間管理のみならず、その医師が他のところでどれくらいの時間働いているかまで調べなくてはならないし、場合によっては個人的なバイトまで医師から報告を受けなければならなくなるだろう。働いている医師の個人情報を申告してもらわないと、全労働時間の管理は出来ない。

1860時間の規制である。残業時間は年960時間。要するにこの範囲で勤務をしなければならないということだ。

病院が働く医師の労働条件を良くして、優秀な医師に勤務してもらう努力はしているし、引き続きしなくてはならないのは当然である。その指針として1860時間という提言は受け入れ可能な提言だと思う。でも、あくまでも提言としてである。

さて、我々が懸念していることは、この制限によって、救急医療、産科、小児科などを中心に医師、スタッフの懸命な努力によって成し遂げられている医療が崩壊することである。

崩壊すると、何が起こるか？患者さんが救急を必要としても、満足な診療が受けられないことである。しかも患者さんの多く（人口の約半数）は労働者であり、労基は労働者が救急を必要とした時に、適正な医療を受けられなくなろうとかまわないということになる。ちなみに2022年の労働力人口は約6500万人である。労基は労働者が病気になって適正な医療を受けられなくても構わないというのか！

さて、労働基準法で施行する前に、憲法がある。そこには勤労について「すべての国民は勤労の権利を有し、義務を負ふ。（第27条１項）」とある。

勤労の義務は権利でもあるわけだ。だとすると、1860時間の制約によって労働時間を制限するのは勤労の権利に違反することになる。

〈さあ！みんなで個人事業主になろう！〉

さて、それに引き換え、開業医は規制がない。何故なら個人事業主だからだ。

労働者ではなく、雇用主だから労働時間規制がないのである。

ならば、日本医療の崩壊を防ぐために医師は揃って個人事業主になろうではないか。

厚木病院協会会長に就任して
～県央地区の医療の現状と課題～

厚木病院協会　会長
（神奈川県病院協会　理事、神奈川リハビリテーション病院　病院長）
杉山　肇

厚木病院協会の会長をしております神奈川リハビリテーション病院の杉山　肇でございます。昨年の６月に前任の山下巌先生より会長を引き継いでおりますので、就任のご挨拶を兼ねて県央地区の現状と課題についてお話ししたいと思います。

新型コロナウイルス感染症との戦いも約３年になり、今は第８波がおさまりつつあるものと考えられます。第７波と同様、多くの職員が感染あるいは濃厚接触で出勤できない状況で、まさしくこの感染症の問題への取り組みが大きな課題でありました。厚木病院協会では、第２種感染症指定病院の厚木市立病院を中心にお互いの病院が連携してそれぞれのクラスターに対応するなどしてきましたし、県央地区として海老名総合病院などとも人の派遣なども行いながらお互いに協力して危機を乗り越えてきました。

このような中で、協会の運営も大変大きな影響を受けました。毎年４回行っている各病院の院長、事務長の定例会もZOOMでの開催となり、夏の懇親会や秋の研修会そして賀詞交換会も３年連続で中止となりました。何とか昨年から、対面での会議を増やし、昨年の秋には、全体大会と称して各病院10名までの出席ですべての病院が集まり、お互いの施設の現状報告と課題について共有しました。連携室を中心に厚木地区としての連帯を強化できたと思います。また、県の病院協会が主催する31回にもおよぶコロナ対策会議は私共にとって大変有用で、私も毎回参加してこれからの状況について学び、これらの情報を地域で共有してきました。まもなく２類から５類に変更になりそうですが、これからも連携して対応していきたいと思います。

さて、このコロナ禍でややおろそかになっていた地域医療構想も、この間に大きな局面を迎えました。多くの地域でこの構想に準じて、急性期から回復期への病床転換が進められたと思いますが、国・県から示されたデータに振り回されているというのが実情ではないでしょうか。私共の県央地区でも、急性期から回復期への転換が進められたわけですが、新しく稼働した回復期の病院の影響もあり、県央地区は回復期の病床充足率が他の地域と比べ２倍になっております。一部の病院は回復期の病棟運営が利用率低下により立ち行かなくなり、回復期から慢性期（障害者病棟）に、あるいは、回復期から急性期に戻るなどの申請が出されています。特に相模川から西の厚木病院協会の地域ではその傾向が強く、改めて提示されたデータに問題がなかったのか疑問を抱いております。こうした病床の機能区分の変更の申請は、地域の医療機関が集まるワーキンググループで意見を募り、県の保

健医療福祉推進会議で諮るようですが、コロナの影響があったとはいえ、短期間にこのような事態になったことに、提示されるデータの重要性を改めて実感しています。

もう一つの大きな課題は、地域の救急医療体制です。厚木地区（厚木市、愛川町、清川村）では、２次救急医療体制として厚木市立病院と東名厚木病院を中心とする輪番体制の２本立てで地域の救急医療を行ってきました。しかし、これも医師の働き方改革と関係して大きな転換期に来ています。輪番体制を担っている病院の多くが少ないスタッフで救急医療に対応していたため、今回の働き方改革で、大きな打撃を受けることとなり輪番体制に残ることができなくなっています。医師を派遣している大学病院などはいわゆる宿日直許可さえ得られれば、医師の派遣は継続できるといわれているようですが、実態は派遣医療機関が把握できていないものも多いようで、医師の働き方改革が待ったなしとなった今、大きな問題となって浮上してきています。救急医療体制は、市町村にその責任があるようですが、必ずしも十分な運営体制があるわけではなく、医師会、病院協会へ任せきりになっているようです。今後医師の働き方改革を進める県とも相談しながら早急に対応する必要に迫られています。

新型コロナ感染症の暗闇の中でやっと光が見え始めた年初ですが、新たな問題が現れ、病院協会の重要性を改めて実感しております。不慣れな新米会長ですが一つ一つ皆様に教わりながら解決できればと思いますので、今後ともよろしくご指導のほどお願い申し上げます。

就任のご挨拶

大和･高座病院協会　会長
（桜ヶ丘中央病院　病院長）
島﨑　猛

昨年４月に大和・高座病院協会の会長を引き継ぎました桜ヶ丘中央病院の島崎　猛と申します。もとより浅学非才の身なれども、全力でその任を果たしていく所存ですので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルスが日本に上陸して３回目の大晦日、西国分寺にある実家に戻りました。さすがに大晦日ともなると、普段は混雑の激しい国道16号線や鎌倉街道は空いており、車の流れは穏やかでした。

実家には今年94歳になる母親が一人で住んでいます。耳が遠い以外は認知症もなく、日常生活は自立しています。母親は何しろよく食べます。我々と同じ摂取量です。毎日の日課として、国分寺崖線を下り多摩総合医療センターの南にある武蔵台公園に赴き、体操や太極拳に励んでいます。ささやかながら太極拳は初心者に指導もしているようです。有難いことに、周囲の方々も大変親切にしてくださるので、今のところ家族は必要に応じたサポートをするだけで、母親は悠々自適な独居生活を創意工夫しながら楽しんでいられます。

月並みですが、高齢者が元気でいるために必要なものは栄養、運動、周囲とのコミュニケーション、そしてちょっとした生きがいなのかなと、母親を見ていて思います。

実家に着いて、神棚に一礼したのち、近所に挨拶周りをし、買い物や網戸の修繕などの便利屋業務をこなしました。年越しそばやおせち料理の準備を整えたあと、紅白歌合戦を観ました。今時紅白とか合戦とか、ネーミングが昭和な割に、内容がポップで目まぐるしく、時代は変化するものと思いつつも、若者グループのテンポの速い踊りや、早口言葉のような歌詞の連続は、老頭児の私には脳トレにもならず、かなりの疲労感を覚えました。溢れる情報、迅速化の要求は年末恒例の歌番組にも着実に浸透しているようで、不便ながらも趣のあった昭和の時代が懐かしく感じられました。ただ、そんな紅白ではありましたが、紅組の司会役の若い女性の落ち着き、堂々とした進行ぶりには感心させられました。スポーツ等他の分野でも見受けられることですが、世界を舞台にしても若者たちの物おじせず堂々とした様子を見ると、まだまだこの国は大丈夫だと感じられ、思わず口角が上がります。そんなことを考えつつ年越しそばを食べ、新年を迎えました。

元旦はおせち料理とお神酒で新年のご挨拶をしました。そのあと穏やかな晴れた日差しに誘われて散歩に出ました。伝鎌倉街道を通って国分寺崖線を下り、国分尼寺跡で立川段丘を東に進むと武蔵国分寺に至ります。楼門をくぐり万葉庭園を散策したのち、再び寺の

西側の国分寺崖線を上がり、西国分寺駅の東南に広がる都立武蔵国分寺公園に出ました。散歩する人、走る人、広場でサッカーボールを蹴って遊ぶ子供たち、日向で転寝をする人、様々な元日の過ごし方がそこにはありましたが、中でもひときわ目を引いたのは凧揚げをする家族でした。子供たち2人が前で糸を手繰り、父親が後ろでそれを巻き取り、母親は応援しながら家族を見守っていました。糸の先を追っていくとはるか上空に三角のゲイラカイトが銀色に光っていました。糸の長さから想像するに40mほどの高さまで上がっていたような。

その昔、上空の気象は、凧や風船に観測機器を付けて飛ばしたり、人が熱気球に乗り込み命がけで観測されていたと、父親から教わったことを思い出しました。天気予報の精度を高めるためには地上の観測だけでなく上空での観測による情報を加え、大気の状態を立体的にとらえることが不可欠だったからです。

戦後まもなく、中央気象台附属気象技術官養成所を出て気象庁に勤めていた父親は、ラジオゾンデによる高層気象の研究のため渡米しました。ラジオゾンデは水素を詰めた気球に観測機器を吊り下げたもので、これを上空に放ちます。地上から高度約30kmまでの気温、気圧、風向などを連続的に観測することができ、現在でも使われている技術です。

全国の気象台やアメダスなどによる地上の観測データ、海洋気象ブイや海洋気象観測船からのデータ、ラジオゾンデによる高層気象のデータ、気象レーダーからのデータ、気象衛星ひまわりからのデータなど、膨大なデータがスーパーコンピューターで解析されます。大気の状態は常にカオスですから基本的に予測不能なわけですが、スパコンでこれをできるだけ現実に近く再現し、さらに予報官の経験や知識を加えて、現在では的中率（因みに的中率とは降水の有無の予報精度のことです）を83%まで精度を高めることができるのだそうです。

また、父親からは、気象通報による天気図の書き方を教わったことも思い出しました。

散歩から戻り、久々に16時からNHKR2の気象通報を聞いてみました。いつもの男性アナウンサーがいつものように落ち着いた声で「この時間は気象庁発表の今日正午の気象通報をお伝えします。はじめに各地の天気です。石垣島では･･･」に始まり、風向、風力、天気、気圧、気温を那覇から順々に富士山まで伝えます。なぜか香港以外の中国の各地は全部天気不明でした。各地の天気が終わり、船舶からの報告、さらに漁業気象で日本近海の低気圧、高気圧、前線の位置、強風や濃霧の海域、日本付近を通る等圧線の位置が数本報告されました。気象通報が、あまりにも子供のころの記憶と変わりなかったこと、高度に技術が発達した今日でもなお廃れずに脈々と続いていることに驚きました。もしかすると、また天気図が書けるかもしれないなとほんのり嬉しく思いました。

最後に、家族の平和と健康、病院の安全とコロナの収束を神棚に願って帰路に着きました。

以上、年末年始の徒然草でした。

神奈川県看護部長会　これから先は…
“コロナ禍の看護管理から学んだこと”

神奈川県看護部長会　会長
（聖マリアンナ医科大学病院　副院長･看護部長）
本舘　教子

2020年からまん延した新型コロナ感染症、現在も第８波の対応が続いております。

国内の感染者数は2900万人を超え、日本の人口の約4.5％にあたります。

神奈川県内を見てみますと、感染者数は33,100人、神奈川県の人口の0.36％となっています。

国内では4.5人に一人が感染したことになりますが、それと比較すると神奈川県の感染率は12.5人に一人と少ないことがわかります。

春ごろを目途に「５類」感染症にすることを政府は模索していますが、医療提供体制の整備・医療費の公的支援への影響・軽症者の受け入れ等各種施設の存続・治療薬やワクチン接種時の自己負担額の増大など懸案すべき課題があります。

発生当時は、未知の感染症であり治療も含め対応がわからない状況で、私たち看護職は「患者さんを助けたい」という使命感の中で、一部の方々の理不尽な誹謗中傷を受けながらも必死に対応してまいりました。

そして治療薬やワクチンが開発され、人々は個々人の意識改革のもと生活様式の変更を実施してまいりました。収束の兆しが見えたところで変異株の出現と、なかなか先が見えない現状で第８波まで続いています。しかし、変更した生活様式は定着し、看護の現場においてはコロナ感染症患者さんへの対応も日常の看護実践の一つと位置付けられてきたように感じます。

この新興感染症の拡大は、私たち看護管理者に多くの体験と学びを与えました。

速やかな情報収集と正確な伝達、スピーディーな意思決定と明確な方針の提示、そして職員一人一人の徹底した行動変容と評価結果の提示です。このマネジメントサイクルを高速回転で回し続けました。

未知の疾患に対応するわけですから、情報収集、とりわけ専門家や行政からの情報は必須です。刻々と変化する内容を聞き漏らさず収集し、管理の場面で活用するもの、職員一人一人に発進するものを整理しながらコントロールしていきました。地域における役割の明確化とそれに伴う各施設の方針の提示は、職員を同じ方向に導くためのものであり、神奈川モデルの発信は自施設にとって明確に役割を浸透させるためのものとなりました。

さらに外来･入院患者を受け入れるための施設整備、人的資源の確保と看護体制の確立、

医療材料や物品の確保と不足時の工夫､職員一人一人へのきめ細やかなメンタルサポート、危険な仕事への報酬と福利厚生の視点での整備、感染した職員自身が自己責任を問うような発言への対応などなど、各部門が通常の業務としている活動を対策本部の中で意思決定しながら対応を続けていきました。とりわけ、患者さんやご家族の意向を尊重した個別性のある看護実践を行えない看護職の倫理的葛藤は、やりがいや仕事を継続する意思に影響を与えました。またコロナ感染症対応チームを短時間で編成することで、動機付けやチームビルディングなど師長をはじめとした管理者の能力が求められました。

この様な混乱の中で看護管理者は、常に看護の中心に何を置くのかを見失わないようにしなければいけません。どのような状況変化に遭遇しても「看護とは何か」「看護の役割とは何か」に常に立ちかえり、意思決定することが重要です。つまり“原点回帰”することです。

そして組織として対応した経験を看護の視点から意味づけし、学びに変えることだと思います。概念化・言語化して管理の知にしていくことが重要です。その知が次の看護管理に繋がっていくだと思います。

これからも神奈川県看護部長会は『地域包括的視点に基づいて、看護の価値を高め医療･介護・福祉の連携と管理を創造する』をメインテーマとして活動してまいります。

引き続きご支援等をどうぞよろしくお願いいたします。

タスク・シフト／シェアによる「告示研修」への取り組み

公益社団法人　神奈川県放射線技師会　会長
田島　隆人

令和４年６月に公益社団法人神奈川県放射線技師の会長に就任いたしました田島隆人と申します。日頃より本会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、本年度の診療放射線技師のトピックスと言えば、「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律案」が第204回国会（常会）において令和３年５月21日に成立し、本年度より開催が始まった義務研修「告示研修」が挙げられます。

この法律案は、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進する観点から、医師の働き方改革、各医療関係職種の専門性の活用、地域の実情に応じた医療提供体制の確保を進めるため、長時間労働の医師に対し医療機関が講ずべき健康確保措置等の整備や、地域医療構想の実現に向けた医療機関の取り組みに対する支援の強化等の措置を講ずることを目的としています。

各医療関係職種の専門性の活用の中に、タスク・シフト／シェアを推進し医師の負担を軽減しつつ、医療関係職種がより専門性を生かせるよう各職種の業務範囲の拡大を行うこととされ、診療放射線技師法の改正も含まれました。

法律案が成立したことを受けて、新たな診療放射線技師法は2021年10月１日から施行され、診療放射線技師の新たな業務として、下記の６つの業務が拡大されました。

1）造影剤を使用した検査やRI検査のために、静脈路を確保する行為、RI検査医薬品の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為
2）RI検査のために、RI検査医薬品を注入するための装置を接続し、当該装置を操作する行為
3）動脈路に造影剤注入装置を接続する行為（動脈路確保のためのものを除く）、動脈に造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為
（動脈路に造影剤注入装置を接続する行為とは、医師の補助としては、カテーテルやガイドワイヤー等を使用できる状態に準備する行為や、医師に手渡しする行為、カテーテル及びガイドワイヤー等を保持する行為、医師が体内から抜去したカテーテル及びガイドワイヤー等を清潔トレイ内に安全に格納する行為等であり、患者の体内でのカ

テーテルやガイドワイヤー操作、シースの抜去後の止血等は含まれません）

4）下部消化管検査（CTコロノグラフィ検査を含む）のため、注入した造影剤及び空気を吸引する行為

5）上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為、当該造影剤の投与が終了した後に鼻腔カテーテルを抜去する行為

6）医師又は歯科医師が診察した患者について、その医師又は歯科医師の指示を受け、病院又は診療所以外の場所に出張して行う超音波検査

これらの業務が追加されることに伴い、全ての診療放射線技師免許取得者（令和６年４月１日前に診療放射線技師の免許を受けた者および同日前に診療放射線技師国家試験に合格した者）に対する「告示研修」を実施し、受講が義務付けられました。

告示研修は基礎研修と実技研修からなり、基礎研修は700分、実技研修は385分の計1,085分となります。なお、実技研修385分のうち、実際症例などの動画視聴が165分、実技訓練は220分であり、特に実技研修に於いては、日本医学放射線学会からの指導･監修医師１名、開催会場近隣の病院（日本看護協会）の看護師１名の指導を仰ぎながら、指導者研修を受講修了したファシリテーター（神奈川10名）が中心となり、1）～5）までを重点的に模擬ファントムを用いて、各都道府県で開催している研修になります。

神奈川県に於いても、本会開催により、令和４年４月24日横浜市立大学福浦キャンパスを皮切りに、６月、９月の鶴見大学会館、11月の東海大学伊勢原キャンパス、令和５年２月の横浜市立大学福浦キャンパスの計８回、約400名の県内外の診療放射線技師の受講修了者を排出いたしました。

神奈川県下には、約3,000人の診療放射線技師が従事しております。県下の診療放射線技師全員が受講修了することを目標として、令和５年度も本年度以上の開催を計画しておりますので、是非ご施設の診療放射線技師の皆様に受講を促して頂ければ幸いです。

最後になりますが、本会の役割として、研修会や情報共有・配信等を通して、皆様と一緒にチーム医療の一端を担いながら、地域医療の発展に貢献していく所存です。

タスク･シフト／シェアにおいて臨床検査技師および神奈川県臨床検査技師会の活動

一般社団法人　神奈川県臨床検査技師会　会長
芹澤　昭彦

令和４年６月より神奈川県臨床検査技師会会長に就任いたしました芹澤　昭彦と申します。この度、神奈川県病院協会会報への寄稿の機会を与えていただき感謝申し上げます。

長時間労働が常態化している医師の働き方の是正のために、令和６（2024）年４月から時間外労働の上限規制が適用される。医師の働き方改革を推進するための一方策として、さらなるタスク・シフティング（業務の移管）の推進は重要であるとされ、関係職種の業務範囲の拡大に関する法改正が行われ、令和３（2021）年10月１日より臨床検査技師の業務に10の行為が追加されました（表１）。

医療用吸引器を用いて鼻腔、口腔又は気管カニューレから喀痰を採取する行為
内視鏡用生検鉗子を用いて消化管の病変部位の組織の一部を採取する行為
運動誘発電位検査
体性感覚誘発電位検査
持続皮下グルコース検査
直腸肛門機能検査
採血を行う際に静脈路を確保し、当該静脈路に接続されたチューブにヘパリン加生理食塩水を充填する行為
採血を行う際に静脈路を確保し、当該静脈路に点滴装置を接続する行為（電解質輸液の点滴を実施するためのものに限る。）
採血を行う際に静脈路を確保し、当該静脈路に血液成分採血装置を接続する行為、当該血液成分採血装置を操作する行為並びに当該血液成分採血装置の操作が終了した後に抜針及び止血を行う行為
超音波検査のために静脈路に造影剤注入装置を接続する行為、造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為並びに当該造影剤の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為（静脈路に造影剤注入装置を接続するために静脈路を確保する行為についても、「静脈路に造影剤注入装置を接続する行為」に含まれる。）

表１：臨床検査技師等に関する法律施行令および法律施行規則

併せて９月30日には現行制度下で医師から他の医療関係職種へのタスク・シフト／シェアが可能な業務の具体例が示され、臨床検査技師については14の行為も示された（表２）。

心臓・血管カテーテル検査、治療における直接侵襲を伴わない検査装置の操作
負荷心電図等における生体情報モニターの血圧や酸素飽和度などの確認
持続陽圧呼吸療法導入の際の陽圧の適正域の測定
生理学的検査を実施する際の口腔内からの喀痰等の吸引

検査にかかる薬剤を準備して、患者に服用してもらう行為
病棟・外来における採血業務
血液製剤の洗浄・分割、血液細胞（幹細胞等）・胚細胞の関する操作
輸血に関する定型的な事項や補足的な説明と同意書の受領
救急救命処置の場における補助行為の実施
細胞診や超音波検査等の検査所見の記載
生検材料標本、特殊染色標本、免疫染色標本等の所見の報告書の作成
病理診断における手術検体等の切り出し
画像診断システムの操作等
病理解剖

表２：現行制度の下で医師から他の医療関係職種へのタスク･シフト／シェアが可能な業務の具体例

特に臨床検査技師の免許を有する者が法改正により新たに業務範囲に追加された行為を行なおうとするときは、まず、日本臨床検査技師会で「タスク・シフト／シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」とし厚生労働省から示されたカリキュラムに準じて、オンライン形式の基礎講習700分の履修を行い、各都道府県において開催される実技講習360分を履修する形式として実施している。神奈川県臨床検査技師会としても、実技講習会を今年度４回開催しており、現在、258名が厚生労働大臣指定講習会を修了している(写真１、２)。今後も実技講習会を開催し履修修習者を随時増やしていく予定であるが、新型コロナウイルス感染状況による実技講習会の開催見送りや、実技講習講師確保（医師、看護師）が厳しい、１回の実技講習会の定員が60名に限られていることもあり、思うように履修者を増やしていけない現状もある。

写真１：実技動画視聴

写真２：静脈路確保の手技講習

医師の働き方改革の推進については、医療の中での喫緊の課題であり、全ての医療機関において対応が求められている。その一方策であるタスク・シフト／シェアに関連する法令改正は国家資格を有する多くの医療職種の中で一部の職種にのみ実施されおり、その中に我々臨床検査技師があり、我々にも大きな期待が寄せられているものと思われる。多職種が協同し進められるタスク・シフト／シェア推進の取り組みの中で、臨床検査技師も医師の働き方改革へ貢献することを念頭に置き、医師のみならず他の医療職種のおよび関連団体と協力・連携を深め、より良い医療提供のため臨床検査技師の活躍の場の拡大と信頼度の向上に努めて行きたいと思いますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

動画サイト

神奈川県病院協会　常任理事
（太田総合病院　理事長兼病院長）
太田　史一

私は普段ほとんどテレビは見ないのだが、youtubeの動画はつい見てしまう。よく見るのは音楽系の動画で、趣味のクラシック音楽などを楽しんでいる。ネットにある情報量は圧倒的で、昔だったらレコード屋を何十件と探し回っても見つけられないような希少な音源も、今では手軽に聴くことができる。子供の頃からクラシックを聴いてきたので、名曲といわれるようなものは一通り知っているつもりであったが、いやいやとんでもなかった。世の中にはまだ自分の知らない名曲名演が山ほどあるのだ。少なくとも残りの半生を楽しむには十分過ぎてあり余るほどだろう。

何かを調べる際にも動画は有用だ。お歳暮にズワイ蟹を送ってくださる方がいて、大変美味であるし有難いことなのだが、カニを自宅で食すのは中々大変である。ハサミと出刃包丁で悪戦苦闘、待ちくたびれる家族の視線を感じながら、痛む手をこらえひたすらカニの身を取り出すのは、毎年恒例の苦行であった。という訳でこんな時こそyoutubeである。なぜ今まで気づかなかったのか･･･カニのさばき方の動画は非常に有用であった。甲羅や脚の外し方、折り方、切り方、身の取り出し方、まさに百聞は一見に如かずで、動画での解説は素晴らしく特にカニ脚の身を麺打ち棒で押ししごいて取り出すやり方には感動すら覚えた。動画を参考にして取れたカニ身の量は、それまで自己流でやっていた時の３倍以上あったかもしれない。以来、大変美味しく頂いている次第である。

ダイエットにも動画が役に立つ。自分１人だけで減量トレーニングを行っても継続は至難である。スポーツクラブに入ってトレーナーに付くなどすれば良いのだろうが、そうなるとお金もかかるし、何よりそのための時間を確保するのが難しい。ということでここでもyoutubeである。素敵な笑顔の女性トレーナー（プロのインストラクターではないらしい）が筋トレや有酸素運動、ストレッチなどを指導してくれる。というより動画を見ながらのエクササイズは、インストラクターとその場で一緒に運動している様に感じられる。とても楽しい。コロナ禍で夜の会合が減ったせいもあるが、動画を見ながら毎日10分程度のエクササイズをするようになって、私は１年で12kgの減量に成功した。

DXやら何やらひたすら情報化に向かって突き進む現代社会には、ふと辟易することがある。情報に踊らされ操られる危険もきっと潜んでいる。でも良い面もあると思うことにしている。

奥の細道に触れて

済生会神奈川県病院　事務部長
武田　朋久

「月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり･･･」言わずと知れた松尾芭蕉（1644年－1694年）『奥の細道』の冒頭である。私は、月に一度は休日に近隣の大型書店をふらふらと１、２時間徘徊し、気になった本をまとめ買いするのをこの10数年続けている。半年ほど前になるか、いつものように徘徊。最後、レジに行く前に単行本コーナーに立ち寄った。その日は既に数冊の本を抱えて満足していたところであるが、ふと目にとまったのが、角川ソフィア文庫の『ビギナーズ・クラシックス おくのほそ道（全)』であった。これまで、単行本は小説しか買ったことがなかったのだが、懐かしさもあってか手にしてみた。開いてみるとビギナーズ版ということで、挿絵やコラムなども入っていて、見た瞬間に俳句や古文などに全く関心も知識もない私でも、何とかついて行けそうな予感。これも書店徘徊の醍醐味ということで、軽い気持ちでこれも購入して帰宅した。追加で買った本ということで、もともと大して関心が高いわけではなかったので優先度は低く、半年余り他の未読の本の中に紛れて置かれていた。先日、溜まっている未読本の中から何か読み始めようと本棚を確認すると、後回しになっていた当書に目が留まった。新しいジャンルだが薄い本なので、つまらなくても途中でリタイヤせずに頑張って読み切ろうと、挑むような気持で読むことにした。

さて、読み始めて先ず思ったこと。「これは、一気に読むのは勿体ない」であった。というのも、先ず、現代語～原文～解説、追加情報という順番で構成されており、古文のド素人である私にも実に分かり易い。そして､その一文々々が情緒的であり非常に感慨深い。「奥の細道」は俳諧紀行文というジャンルだそうで、行き先々の名所や旧跡を巡る紀行を、俳句を交えて記してあり、日記っぽい印象。ここ数年、コロナ禍で久しく旅行にも行けておらず、なんとなく日々、閉塞感を感じている昨今、私もひっそりと旅に出たいという気持ちになった。そこで、芭蕉と曽良（芭蕉の門人で旅の同行者）の旅に私も同行しているつもりで、朝の通勤時の電車内（因みに始発駅なので毎日座っています。）で１日１話だけをじっくりと読み、芭蕉が当時に見て、感じて、表現した世界を私なりに当時を想像し、思いにふけることにした。たった５分程度の朗読時間、そして数分間の時間旅行。朝の慌ただしい時間の中、ささやかで贅沢な時となった。また、私が芭蕉らの旅を想像するように、芭蕉も平安時代や鎌倉時代に詠まれた和歌の名所を訪ね歩いていて、当時の人々やその景色に思いを寄せて綴っている。そしてそれを更に未来から想像し、思いをはせている

自分がいる。芭蕉が思いをはせたと時代と芭蕉がいた時、その場所は今、どうなっているのであろうかと思うと、時の流れを何とも不思議な感覚で感じ入る。今年は2023年、計算すると芭蕉が没してから329年にもなる。その間、人類は飛躍的な進歩を遂げ、人々の生活も当時からは想像もできないほど豊かになった。そして、それに伴って人々の価値観は変化し、ものの考え方や行動さえも変わってきたことだろう。しかし、この様に時を超えて過去の人の思いに共感できるということは、人の“心”、人としての根幹に当たる部分については、今も昔も変わっていないのであろう。また、“心”が出来事を感じ取る能力のことを感性というが､同じ出来事でも人それぞれ感じ方は違う。その出来事をどう捉え、どう思い、どう感じるのか、はたまた感じないのか。ということは、同じ経験をしたとしても感性の強弱や心のありようで人生の見える景色、豊かさは変わってくるのであろう。ならば、感性が豊かな人の方が、より密度が濃く得した人生が送れるのかもしれない。

さて、私ののんびりとした『奥の細道』の旅は、今週、芭蕉が旅立つ前に心浮かべていた松島を通過し、来週はいよいよ平泉に入る。平泉は、この旅の前半の山場だそうで、私なりに感性を研ぎ澄まして文面を味わいたい。芭蕉一行との旅路はまだ中盤、もう暫く贅沢な時間を過ごせそうである。

会員病院紹介

新　築　等

松島病院
聖マリアンナ医科大学病院
湘南鎌倉総合病院
長岡病院
湘陽かしわ台病院
海老名総合病院
永井病院

賛助会員紹介

（入会順に順次掲載します）

あかつきリアルエステート株式会社
望星サイエンス株式会社
株式会社神医社
株式会社ブレイン・サプライ
マーシュジャパン株式会社
株式会社柴橋商会
山王総合株式会社
株式会社日本医療企画
日本光電工業株式会社　首都圏GP支店
株式会社３Sunny

会員病院のご紹介（2023年５月・移転･新病院開設）

～ 大腸肛門疾患診療のトップランナーを目指します ～

松　島　病　院

松島病院大腸肛門病センター・松島クリニックは松島病院として横浜（戸部）に移転・開院します

理事長　松島　誠

病院概要

●所 在 地　横浜市西区戸部本町 19-11
●病 床 数　117床（急性期）
●診療科目　肛門外科、肛門内科、消化器内科、消化器外科、放射線科、麻酔科

新病院概要（予定）
●所 在 地　横浜市西区戸部本町 9-11
●病 床 数　95床（急性期）
●診療科目　肛門外科、肛門内科、消化器外科、消化器内科胃腸内科、胃腸外科、内視鏡内科、内視鏡外科、放射線科

院長　宮島　伸宜

ご挨拶

1924年に松島医院を開院して以来、当院は外科、内科が協力して大腸肛門疾患の診療を行ってきました。その後、増築・増床を繰り返してきましたが、大腸がんの増加に伴う内視鏡検査が増加し、1987年に内視鏡検査を専門とした松島クリニックを開設した経緯があります。

新病院建築は肛門疾患の松島病院、内視鏡検査を専門とした松島クリニックの両施設を一カ所に集約することで、松島病院の大腸肛門疾患診療を本来あるべき姿に戻し、大腸・肛門良性疾患の最良の診断・治療を one-stop で行い、さらに先生方や患者様に貢献できると考えております。

新病院開院後も、皆様からの変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

沿革

大正13年（1924年）　松島医院（松島病院の前身）　開院
昭和33年（1958年）　医療法人恵仁会松島病院に改組
昭和62年（1987年）　松島クリニックを開設
平成９年（1997年）　松島病院　増築・新棟竣工
令和５年（2023年）　５月　新病院開院予定

新病院　イメージパース

基本理念･基本方針

●基本理念

大腸・肛門病科の領域に特化した質の高い専門医療を追求し、常に患者さまから信頼され選ばれる医療機関であり続けることを目的とする。

●基本方針

1．専門領域に特化した高度専門医療の追求と根拠に基づいた医療の提供
2．インフォームドコンセントを尊重し、患者さまの立場に立った医療の実践
3．優秀な専門医の育成と自己研鑽
4．患者さまとのコミュニケーションを大切にし、心優しく信頼される医療サービスの提供
5．院内施設環境の整備・充実を図り、より快適で安全な入院生活の提供
6．他の医療機関と連携し、地域社会に貢献
7．市民講座や説明会を通じての大腸・肛門病に関する知識の啓蒙活動
8．健全経営による安定した病院運営

アクセス

新病院移転先

〒220-0041
横浜市西区戸部本町9-11

京浜急行線「戸部」駅 徒歩3分

横浜市営地下鉄ブルーライン
「高島町」駅 徒歩10分

会員病院のご紹介（2023年１月・新入院棟開設）

～ 時代のニーズに対応する高度急性期病院をめざして ～

聖マリアンナ医科大学病院

病院長　大坪　毅人

病院概要

●開設者　学校法人 聖マリアンナ医科大学　理事長　明石 勝也
●病院長　大坪 毅人
●開　設　1974年（昭和49年）２月12日
●所在地　〒216-8511 神奈川県川崎市宮前区菅生2-16-1　　TEL 044-977-8111（代表）
●構　造　地上11階（免震構造）　総床面積　60246.42㎡　屋上ヘリポート
●病床数　許可病床数955床：一般病床924床このうち集中治療117床（EICU６床、EHCU24床、GHCU12床、GICU24床、SUC9床、MFICU12床、NICU12床、GCU18床）精神科病床31床。手術室20室。
●診療科目　総合診療内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓･高血圧内科、代謝･内分泌内科、脳神経内科、血液内科、リウマチ･膠原病･アレルギー内科、腫瘍内科、神経精神科、小児科、新生児科、消化器･一般外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺･内分泌外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、腎泌尿器外科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉･頭頸部外科、放射線診断･IVR科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、救急科、リハビリテーション科、緩和ケア科

ご挨拶

聖マリアンナ医科大学は創立50周年事業として菅生キャンパスリニューアルを計画しました。新病院のテーマを『選ばれる病院　人・社会・未来から』とし、新病院のビジョンを『多様な高次機能を備え、人に優しく、働きやすく、社会の変化に柔軟に対応できる未来志向型病院』として2011年より準備委員会を立ち上げ取り組んでまいりました。そして昨年11月新入院棟が完成し、年末年始入院患者さんの引越しを終了いたしました。今後は現在の病院別館を改修し、病院本館を取り壊して整備をおこない2026年秋頃にグランドオープンの予定です。

新入院棟は高度急性期病院の機能を発揮するため１階に一次から三次までの救急医療、画像センター、核医学、放射線治療を配置。２階に集中治療室66床のほか内視鏡センターを配置。３階に手術･IVRセンターとして手術室20室、IVR室５室を配置しました。さらに４階はサービスヤードとしてSPD、薬剤部、栄養部、中央器材室、病理解剖室を配置。５階は総合周産期母子医療センター、産科、小児科･小児外科を配置。６階から11階は各フロアを３つの病棟より構成いたしました。11階南病棟は全室個室の病棟で、最も見晴らしの良い場所に特別室を設け、晴れた日には“みなとみらい”や富士山を望むことができます。新型コロナ感染症のパンデミックの経験を生かし１階救命センター、２階EHCUからEICU、７階呼吸器病棟では感染症等の対応が可能です。

当院は特定機能病院、地域の中核病院、災害拠点病院としての機能を発揮するのみならず、時代のニーズに合った医療を提供していきたいと思っております。具体的には高齢者の増加に対応し病棟対応の看護師、薬剤師のみならず、リハビリスタッフ、栄養士を配置し入院期間中のケアを充実させる予定です。さらに近隣医療機関と密接な連携のもと川崎市が安心して住める街となることを目指し精進してまいります。

沿革

昭和49年２月12日開設　／　令和５年１月１日新入院棟へ移設

ハイブリッド手術室

各階 デイルーム

11階 ラウンジ

11階 特別室

基本理念・基本方針

●理　　念　生命の尊厳を重んじ、病める人を癒す、愛ある医療を提供します。

●基本方針
1. 患者の安全を第一とする高度な医療安全管理体制のもと、良質で心の通い合う医療を提供します。
2. 患者の人権を尊重し、十分な説明と同意のもとに社会に開かれた医療を提供します。
3. 特定機能病院として高度かつ先端的な医療を提供すると共に、その開発、評価および研修を行います。
4. 地域の基幹病院として、地域住民が包括的な医療を受けられるよう連携体制を充実させます。
5. 臨床研究を通じて医学・医療の発展に貢献します。
6. 生命の尊厳とキリスト教の愛の精神を規範とする医療人を育成します。

アクセス

バス情報

小田急線	向ケ丘遊園駅　小田急バス	聖マリアンナ医科大学行　終点下車
		あざみ野駅行　聖マリアンナ医科大学下車
	生田駅　川崎市営バス	聖マリアンナ医科大学行　終点下車
	百合ヶ丘駅　小田急バス	聖マリアンナ医科大学行　終点下車
	新百合ヶ丘駅　小田急バス	聖マリアンナ医科大学行　終点下車
JR南武線	武蔵溝ノ口駅　川崎市営バス	聖マリアンナ医科大学行　終点下車
田園都市線	溝の口駅　川崎市営バス	聖マリアンナ医科大学行　終点下車
	宮前平駅　川崎市営バス	聖マリアンナ医科大学行　終点下車
	鷺沼駅　川崎市営バス	聖マリアンナ医科大学行　終点下車
	鷺沼駅　小田急バス	聖マリアンナ医科大学行　終点下車
	鷺沼駅　東急バス	聖マリアンナ医科大学行　終点下車
	あざみ野駅　小田急バス	向ケ丘遊園駅行　聖マリアンナ医科大学下車
横浜市営地下鉄（ブルーライン）	あざみ野駅　小田急バス	向ケ丘遊園駅行　聖マリアンナ医科大学下車

会員病院のご紹介（2022年11月・グランドオープン）

～ 救命救急から先端医療まで、「弱者を置き去りにしない医療」の責任を果たす ～

医療法人徳洲会　湘南鎌倉総合病院

院長　小林 修三
2022年9月に院長に任命されました。救命救急から先端医療まで幅広い医療を、高品質であらゆる患者さんにご提供できる、弱者を置き去りにしない「やさしい病院」を志しております。

病院全景：建屋左側より「救命救急センター・外傷センター棟、本館、別棟、先端医療センター棟」

病院概要

●運　　営　医療法人徳洲会
●所 在 地　〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本1370-1
●電話番号　0467-46-1717㈹　FAX：0467-45-0190
●建　　物　A棟（本館）　地上15階・地下１階　　C棟（別棟）　地上３階
B棟（救命救急センター・外傷センター棟）　地上６階・地下１階
D棟（先端医療センター棟）　地上４階・地下１階
●病 床 数　669床（一般病床659床※、精神病床10床）　※一般病床のうちICU：８床、HCU：８床、救命救急センター：30床（うちEICU：10床、EHCU：20床）、陰圧病床：13床、無菌室：５床
●診療科・センター
【内科系診療科】　総合内科、総合診療科、血液内科、脳神経内科、腎臓病総合医療センター、糖尿病内分泌内科、免疫･アレルギーセンター、消化器病センター、リウマチ科、呼吸器内科、循環器科、腫瘍内科、睡眠時無呼吸科（SASセンター）
【外科系診療科】　外科、乳腺外科、呼吸器外科、胸壁外科（漏斗胸）、肝胆膵外科、心臓血管外科、脳神経外科、脳卒中診療科（脳血管内外科）、泌尿器科、産婦人科、形成外科・美容外科、整形外科、外傷センター、頭頸部外科、歯科口腔外科
【専 門 診 療 科】　眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、放射線腫瘍科、再生医療科、心療内科、精神科、漢方内科、睡眠時無呼吸科（SASセンター）、フット外来、訪問科
【周産期･小児医療】　お産センター、新生児科、小児科
【急性期総合診療】　ER/救急総合診療科、集中治療部、総合内科、総合診療科
【診　療　支　援】　放射線診断科、麻酔科、病理診断部、感染対策室
【診療センター】　腎臓病総合医療センター、消化器病センター、免疫・アレルギーセンター、心臓センター、ロボット手術・臓器移植センター、IVRセンター、外傷センター、人工膝関節センター、日帰り手術センター、シャントケアセンター、先端医療センター、オンコロジーセンター、予防医学センター、脊椎脊髄センター、お産センター、大動脈センター、脳血管障害予防センター
●主な設備　陽子線治療装置、ダヴィンチXi、小線源治療装置【RALS】、PET-CT、トモセラピー、320列CT、3.0テスラMRI、マンモグラフィー、X線テレビ、マンモトーム、血管造影撮影装置

理念･方針

●理　　念
・生命だけは平等だ・救急を断らない（徳洲会グループの理念・原点）
・生命を安心して預けられる病院･健康と生活を守る病院（湘南鎌倉総合病院の理念）
●当院のミッション
・安全安心で真実と信用ある病院
・「この病院へ来てよかった」と言われる病院
・弱者を置き去りにしない病院
・先端医療・質の高い医療を目指す病院

ご挨拶

当院は本年で設立から35年になります。この間、急性期総合病院として「断らない」医療に全力を尽くしました。しかしながら、「断らない」救急医療は当院だけで出来ません。初療後の患者さんの転院をお引き受けいただくなどの連携・協力体制があればこそ可能です。皆様方と、「地域のため、患者さんのため」に尽くす思いを日々共有させていただいていることを嬉しく思うと同時に、また、感謝の念に堪えません。

「いつでも・誰でも・どこでも安心して医療が受けられる社会の実現」に貢献して来ました。新型コロナ感染患者は2022年９月30日までの２年半の間に合計3,000人が入院されました。発熱外来では３万人を診察し、行ったPCR検査は13万件に上ります。他院で一般診療が滞っていても救急車は断らず１ヵ月2,400台の救急車を受け入れた昨年夏の苦しみは忘れられません。この約３年の間に当院は進化を遂げました。Dx化が促進され安全で安心そして無駄を配慮するための装置の自動化・ロボット利用・オンデマンド化です。

2021年4月に竣工した先端医療センター棟

こうして2021年４月、がん医療中心に最先端の医療を行う先端医療センター棟、2022年４月、急性期医療ニーズの増加に応える救命救急・外傷センター棟を竣工。2022年11月、外構や既存設備の改築を完了しグランドオープンしました。ロボット手術、移植医療、再生医療、陽子線がん治療、免疫・アレルギー疾患など複雑な病態に対し、時代の先を行く先端的な医療を提供する体制構築を進めています。急性期医療に加え、従来は寛解を考えにくかった難治性の病態の治療にも光明となればと考えております。

国内19番目で最新の陽子線治療設備

合わせて当院のモットーとする「弱者を置き去りにしない先進医療の実現」のために、緩和ケア医・精神科医などこれまでに当院に不足していた部分を増強しました。がんの総合的なケアとして包括的にがん診療を行うべく心臓血管医・腎臓内科医らも協力しており、悪性腫瘍に対する治療実績も上がっています。また、当院では総合内科医・総合診療医・ER救急医・集中医療医が協力して「急性期総合医療センター」で共に勤務しています。更に本年は、地域の医療・介護・福祉士施設との連携や、在宅医療に更に注力すべく「地域総合医療センター」を強化します。また、すでに活動していた「予防医学センター」では基礎医学の進歩によって明らかになった「未病から疾病早期発見」のために、先制医療を行うべく一層の充実を図っております。３つのセンターは患者さんにとって一気通貫の重要な一連の医療だと認識しています。

私たちの運営母体 徳洲会グループは、「生命だけは平等だ」という理念で成り立っています。当院はこの理念を礎として、常に「やさしい病院」であること、「弱者を置き去りにしない医療」を追求しています。そのための救急医療、先端医療、地域医療とも、グランドオープンにより、設備・環境の充実を図りました。

そしてその中に、何より理念に共感する職員たちが揃っております。患者さんやご家族の方々から『来て良かった』と言われ、ひいては医療関係者の皆様方から『連携して良かった』と思っていただける病院であるよう、我われ一丸となって頑張ってまいります。至らない点も多々ございますが、一つひとつ改善して参ります。ご指導・ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

アクセス

（大船駅より徒歩20分、
タクシー5分、バス15分）

会員病院のご紹介（2022年５月・新築移転）

～ 高齢者にやさしい医療・介護を提供します ～

長　岡　病　院

理事長・院長　長岡 健介

法人概要

- **開 設 者**　医療法人社団湘南健友会
- **開 院 日**　1982年４月１日
- **所 在 地**　神奈川県茅ヶ崎市赤羽根3685
- **病 床 数**　医療療養病床　162床
- **診療科目**　内科／神経内科／リハビリテーション科
- **指定医療機関**　保険医療機関／生活保護法指定医療機関／労災保険指定医療機関
- **併設事業**　介護医療院／通所リハビリテーション／居宅介護支援事業

ご挨拶

2022年５月、茅ケ崎市赤羽根の地に「長岡病院」を新築移転すると同時に、既存建物（旧介護老人保健施設湘南の丘）を改修し、茅ケ崎市で初となる「介護医療院湘南の丘」を開設しました。

同一敷地内で医療と介護が連携しながら、長期にわたる療養生活を送る場所として、快適で心安らげる空間とともに、ご本人やご家族が最期まで“幸せ”を感じていただくための関り方を考え、行動するよう心がけております。

法人沿革

1982年　茅ケ崎市で初の療養型病院「長岡病院」60床を茅ケ崎市芹沢に開院
1985年　「医療法人社団湘南健友会」設立
1988年　「長岡病院」226床に増床
1998年　「老人保健施設湘南の丘」「訪問看護ステーション湘南の丘」を茅ケ崎市赤羽根に開設
2000年　「湘南の丘　通所リハビリテーション」開設
2015年　「長岡病院介護支援センター」（居宅介護支援事業所）開設
2017年　「長岡病院」医療療養病床166床、介護療養病床56床に変更
2018年　「訪問看護ステーション湘南の丘」廃止
2021年　「介護老人保健施設湘南の丘」「湘南の丘　通所リハビリテーション」廃止
2022年　「長岡病院」162床が茅ケ崎市赤羽根に新築移転
介護療養病床を廃止し茅ケ崎市で唯一の介護医療院として「介護医療院　湘南の丘」56床を開設。
「湘南の丘　通所リハビリテーション」再開。

理念

開院40周年および新築移転を記念し、ロゴマークをリニューアルしました。
青は湘南の海、緑は豊かな緑、オレンジは太陽、そしてピンクは人の健やかさと優しさをあらわしています。
それぞれが影響しあい、支え合い、循環してゆくイメージの象徴です。
湘南の海を眺められる自然豊かな丘の上で、そこに集まる人々が支えあい、いつまでも心穏やかな時を過ごせるよう、願いを込めました。

館内の様子

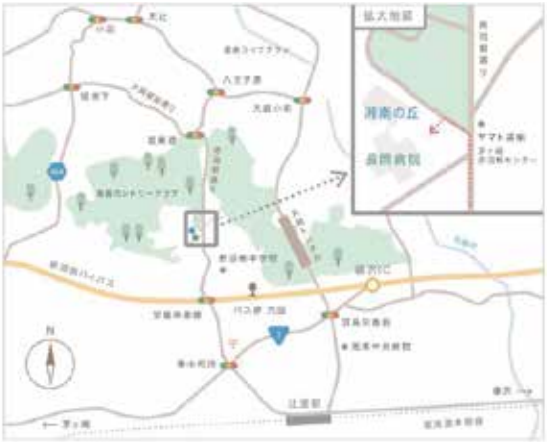
リハビリガーデン

機能訓練室

個室

地域交流カフェ

アクセス



JR辻堂駅より無料シャトル便を運行

●お車でお越しの場合　無料駐車場あり

●タクシーをご利用の場合
JR東海道線「辻堂駅」北口から約8分

●バスをご利用の場合
JR東海道線「辻堂駅」北口1番バス乗り場
神奈中バス「辻07 赤羽根行き」乗車 約6分
バス停「六図」下車　徒歩約15分

医療法人社団医誠会 湘陽かしわ台病院

病院概要

●所 在 地　神奈川県海老名市柏ヶ谷584-2

●病 床 数　199床
一般急性期39床・地域包括病床20床・療養病床60床・
回復期リハビリテーション病棟80床

●診療科目：一般内科・脳神経内科・消化器内科・呼吸器内科・
リウマチ科・整形外科・形成外科・麻酔科・乳腺科・
リハビリテーション科

院長　中村　豊

ご挨拶

医療法人社団 医誠会は2013年10月に「地域に根差したメディケアでプラチナ品質の医・食・住をみなさまに。」を使命としているツツイグループの一員となり、医療～在宅、介護まで幅広く地域の皆様のお役に立てるよう取り組んでまいりました。

当院には病院の他にも「通所リハビリテーション」「訪問リハビリテーション」「健診部」「湘陽かしわ台病院訪問看護ステーション」を併設しており、豊富な医療・介護のサービス提供体制で当院を退院された後、ご自宅での介護も安心してお任せいただけるよう、関連施設との連携を取っております。

2022年６月には回復期リハビリテーション病棟を開設し、一般病床、地域包括ケア病床、医療療養病床を併設した199床のケアミックス病院へ規模を拡大いたしました。

今後も地域の医療ニーズにお応えすべく医療・介護の体制の充実をはかり、地域の皆様に、より一層の医療・介護サービスをご提供できるよう努めてまいります。

Youtube

SHOYOKASHIWADAI_HOSPITAL
Instagram

基本理念・基本方針

理　念

1　地域に密着した医療を心がけます
2　病院の役割分担、職員の役割分担にそれぞれ責任を持つ医療を遂行します
3　医療人として道徳的な水準を高め、品位の向上に努めます

回復期リハビリテーション病棟

沿革

1963年４月	神奈川県座間市に座間中央診療所開設
1968年４月	座間中央病院となる
1985年３月	法人認可　医療法人社団　医誠会となる
2007年５月	座間中央病院閉院
2007年７月	海老名市へ移転　湘陽かしわ台病院（119床）
2022年６月	増築・新棟竣工　病床数変更　80床増床し199床となる

アクセス

会員病院のご紹介（2023年５月・新棟竣工）

～ 仁愛の心で地域の皆様とともに ～

海老名総合病院

病院長　服部 智任

病院概要

- ●名　　称　社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス　海老名総合病院
- ●開　　設　昭和58年９月
- ●所 在 地　〒243-0433　神奈川県海老名市河原口1320　電話：046-233-1311（代表）
- ●職 員 数　1,210名（2021年４月１日現在）
- ●診療科目　総合診療科、血液内科、消化器内科、外科、眼科、小児科、整形外科、形成外科、脳神経外科、泌尿器科、腎臓内科、呼吸器内科、呼吸器外科、麻酔科、放射線科･IVR科、リハビリテーション科、歯科・歯科口腔外科、病理診断科
- ●センター　救命救急センター、心臓血管センター（循環器内科、心臓血管外科）、糖尿病センター、マタニティセンター（産科・婦人科）
- ●病 床 数　479床

ご挨拶

当院は、『救急が医療の原点である』という信念を持った日本医大出身の４人の医師が設立した仁愛会（現ジャパンメディカルアライアンス）を設立主体として、昭和58年に開院しました。開院当初は医師や看護師も少なく苦労の連続でしたが、創設者の理念でもある救急医療に重点を置き徐々に医療従事者も増え、平成29年には救命救急センターを併設し海老名の地に根付くことができました。

しかし主たる病棟の老朽化により様々な弊害が出てきたため、新棟建設のプロジェクトを発足させ、ようやく令和５年の竣工に漕ぎ着けました。新棟では高度急性期医療の強化を図るため、救命センター病棟の増床や手術室の数を増やしました。またロボットやICTなどの導入を進め、次世代の高度急性期医療を目指し体制を整えてきました。

ハードの整備は新棟の竣工で一旦の区切りを迎えますが、これからは地域の皆さまや、周辺の医療機関、自治体と協力関係を強固にして地域に貢献したいと考えております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

新棟は2023年５月、完成します。24時間365日断らない救急医療の実現を目指して、これからも医療機能の充実に努めてまいります。

手術支援ロボット「ダヴィンチ」

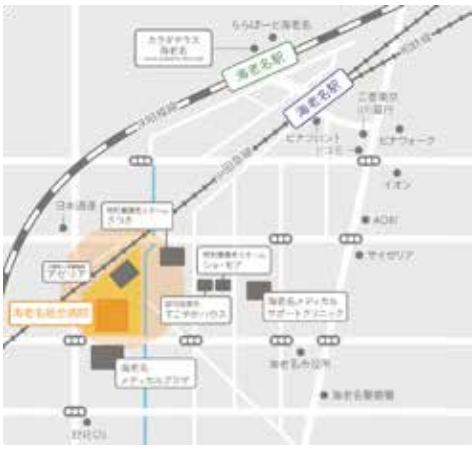
新棟には手術支援ロボット「ダヴィンチ」が導入されます。
医師が3D映像を確認しながら、手術器具を装着したアームを操作して行うロボット支援手術は、術中の出血量が少なく術後の回復も早いなど、患者さんにより低侵襲な手術を可能にしました。海老名総合病院では進化を続ける医療機器を積極的に採用し、今後も地域の高度急性期医療を支えてまいります。

基本理念・基本方針

●**理　　念**　「仁愛の心で地域の皆様とともに」
●**病院使命**　「仁愛の心で安心できる医療を提供します」
●**病院長期ビジョン**　「地域密着高度急性期病院になる」

1．質の高い急性期医療をJMA関連施設との協働により提供する
2．診療の基本は救急医療、主軸は「がん」「脳卒中」「急性心筋梗塞」「外傷」とする
3．患者・地域住民・職員に対し「医療・教育」で貢献し、常に向上できる組織になる
4．健全かつ安定した病院経営を継続する

アクセス



小田急線・相鉄線・JR線

「海老名駅」東口より徒歩12分

会員病院のご紹介（2021年・歯科併設･本館増改修）

～ 患者様に寄り添った安心・安全な医療サービスを提供します ～

医療法人社団三暉会　永井病院

病院概要

- ●運　　営　医療法人社団三暉会
- ●建　　物　本館（A棟）鉄骨３階、増築棟（B棟）鉄骨３階、増築棟（C棟）鉄骨２階
- ●所 在 地　〒250-0874　神奈川県小田原市鴨宮219－5
- ●電話番号　0465-45-1131（代表）　●FAX　0465-47-2777
- ●病 床 数　45床
- ●診療科目　産婦人科、歯科

ご挨拶

当院は、神奈川県西部で唯一の産婦人専門病院として、「あたたかく思いやりのある医療」をモットーに、永年女性の皆さまの健康を見守ってきました。

私たちにとって新しい生命の誕生にめぐりあう感動はかけがいのないものであり、やがて成長した世代が当院で出産を迎えるという、大きな繋がりの中にいることを幸せに思います。

また、女性が生涯にわたって心身共に健やかでありますようにと、最新の医療設備を整え、先端の医療技術の導入にも積極的に努めています。

この度、妊婦歯科健診を主とした歯科（女性専門）を併設し、さらにサポートが充実することになりました。

基本理念・運営方針

●基本理念

産婦人科専門病院として、患者様に寄り添った安心・安全な医療サービスを提供することによって地域医療に貢献します。

●運営方針

・患者様の人権やプライバシーを尊重します。
・医療の安全性を高めて、地域の信頼に応えます。
・医療技術・看護技術の向上を図り、患者様の満足や信頼を頂けるような質の高い医療サービスの提供を目指します。
・医療情報管理を徹底します。
・健全な経営を堅持し、職員が働きやすく、活力ある病院作りを進めます。

沿革

1961年　先代院長 永井収三が当地に永井医院を開院（病床数４）
1967年　増改修工事を行い２階建てとする（病床数19）
1971年　医療法人社団三暉会 永井病院となる（病床数50）
1990年　永井 進が院長に就任 像改修工事を行い３階建とする
2001年　新館増築および本館改修工事を行う（病床数45）
2021年　歯科を併設 多目的ホール（マミーホール）および本館の増改修工事を行う

アクセス

●JR鴨宮駅北口より徒歩約７分
●JR小田原駅より車で約１５分
●小田原厚木道 小田原東I.C.より車で約５分

※約55台分の駐車スペースを備えています。

賛助会員のご紹介（2021年７月・入会）

あかつきリアルエステート株式会社

代表取締役　土佐秀之

法人概要

●社　　名　あかつきリアルエステート株式会社
●代表者名　代表取締役　土佐　秀之
●設　　立　２０１２年４月
●資 本 金　９５０万円
●免　　許　宅地建物取引業　　東京都知事（３）第９４２５１号
●加盟協会　（公社）東京都宅地建物取引業協会・（公社）全国宅地建物取引業保証協会
●所 在 地　〒162-0822　東京都新宿区下宮比町2-28 飯田橋ハイタウン1033
●HPアドレス　https://akatsuki-re.co.jp/
●連 絡 先　TEL：03-5227-7331　FAX：03-5227-7332
　　Mail：info@akatsuki-re.co.jp

ご挨拶

不動産には、価格の大きさ、情報の閉鎖性、市場動向の急激な変化、多数の利害関係者の存在、頻繁に改定される関連法規など、他には無い厄介な特徴が多く、高い専門知識を持って個別具体的に取り扱う必要があります。

弊社では豊富なノウハウと、豊富なノウハウと各種士業、金融機関や各専門家、各地の不動産業者とのネットワークを用いて、あらゆるサポートをさせて頂きます。

取扱いサービス
【不動産仲介・買取】
●事業用不動産売買仲介　●投資用不動産売買仲介　●事業用不動産賃貸仲介
●各種不動産買取
【コンサルティング】
●固定資産税適正化　●不要不動産引取　●不動産運用管理　●遊休不動産の有効活用提案
●相続・事業承継時の不動産管理処分方法の提案　●M&A等

賛助会員のご紹介（2021年９月・入会）

望星サイエンス株式会社

法人概要

望星サイエンス株式会社

東京都文京区本郷５－５－14

代表取締役　渡部　重行

ご挨拶

「地域医療を支え続ける企業へ」

当社は1977年の設立より、医療関連商品の販売を通して成長して来ました。

「会社及び社員の信頼と責任を基本に、常に健全なる経営を目指し顧客、社会、社員の人生に貢献する。」を経営理念とし、地域の健康を支える医療関連機関の皆様からの信頼を頂きながら歴史を刻んで来ました。

現在、医療分野におけるAI、ICT、IoTをはじめとする、イノベーションの進歩は目覚ましいものがあり、導入による医療の質向上に繋がる事が期待されています。当社においてもクラウド化による新しいイノベーションを活用し顧客とのネットワークの連携を行い、経営支援を強みとする企業へ成長して行きます。

変化をおそれず進化し続け、感謝の心を忘れず、多様性を受け入れ、目指す想いを共有し、一つの仕事が持つ意義を考え、主体的行動を促し、医療に貢献し健康な地域社会を実現して行きたいと考えています。

賛助会員のご紹介（2021年９月・入会）

株式会社　神医社

ご挨拶

お客様に寄り添い　サポートいたします

弊社は、損害保険や生命保険の活用を通じて、神奈川県医師会会員の皆様の『経営の安定』『福利厚生向上』に貢献することを目的として昭和53年に設立されました。

以来、皆様のご指導を賜りながら、様々なニーズに対応できる「安心と信頼のパートナー」として、常にお客様に選ばれる存在を目指して努力してまいりました。

今後も、保険の総合コンサルタントとして、リスクに備えるための保険設計だけでなく、ライフプランや相続対策等も見据えた最適な保険商品をご提案申し上げ、お客様の経営や生活の「あんしん」をサポートしてまいる所存でございます。

今後とも皆様の一層のご愛顧を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

法人概要

●会 社 名　株式会社　神医社（ジンイシャ）
●所 在 地　〒231-0037 神奈川県横浜市中区富士見町３-１　神奈川県総合医療会館４階
　　ＴＥＬ（０４５）２３１－７７５９　　ＦＡＸ（０４５）２４３－５４５１
●設　　立　昭和５３年１０月３０日
●資 本 金　１,０００万円
●代 表 者　代表取締役社長　水野　恭一
●事業内容　損害保険代理業、生命保険代理業
　　＜引受保険会社＞
　　損害保険ジャパン株式会社　　あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
　　東京海上日動火災保険株式会社　　三井住友海上火災保険株式会社
　　SOMPOひまわり生命保険株式会社

取り扱い制度、商品等の詳細につきましてはHPをご参照ください。
https://jin-isya.co.jp

活動方針

目に見えない商品だからこそ　大切なこと

病院、診療所の経営の安定、皆様やご家族の安心した生活の実現に向けて最新の保険をご案内させていただいております。医師会のスケールメリットを活かした「医師賠償責任保険」、「所得補償保険」、「傷害総合保険」、「ゴルファー保険」、「サイバー保険」等の団体制度の他、割安な「集団扱い自動車保険、火災保険」など様々な損害保険や生命保険の最適な保険の設計と万一の事故の際の対応を通して皆様のお役に立てるよう活動しております。

賛助会員のご紹介（2021年10月・入会）

ブレイン・サプライグループ

株式会社ブレイン・サプライ

代表取締役　岡　弘己

＜経営理念＞

与えれば与えられる、
すなわち「GIVE & GIVEN」を経営理念として揚げ、
企業経営者の悩みを解決する外部ブレインとしての機能を果たします。

＜経営ビジョン＞

1．我々は全国の中堅中小企業の経営者とその社員を元気にし、活性化することを目指します。
2．「法律を遵守」すると共に、「法律からお客様を守る」ことが我々の使命です。
3．最適な解決法を導く「企業ドクター」として、“時間創出”と“安心の提供”を目指します。

＜法人概要＞

- **会社名　株式会社ブレイン・サプライ**
- **本社所在地　東京都千代田区西神田 1-4-5　東光電気工事ビル５階**
- **代表者　代表取締役　岡弘己（おかひろみ）**

人事労務を主体とした総合コンサルティング会社です。人事・労務に関わる相談が約 8 割。更に問題解決後は税・財務、相続・事業承継、人事制度、BCP、経営計画、社員研修、マーケティング、定款変更等の相談に発展するケースが多く、社内の経験豊富な各専門家が対応し好評を得ている。
◆2023 年 1 月現在　役員 2 名、スタッフ 29 名
【内、社会保険労務士 11 名（特定社会保険労務士 1 名）、MBA 1 名、産業カウンセラー 3 名、ＦＰ技能士 3 名、キャリアコンサルタント 4 名】

ご挨拶

私たちブレイン・サプライは『与えれば与えられる』すなわち Give＆Given を基本理念に、お客様に最適な解決法を導く「企業ドクター」です。私たちはまず、徹底したヒヤリングから改善する問題や、企業の方向性見極めると経営者とゴールを共にして支援をスタートして行きます。社員とのコミュニケーションがとれず、労使間の距離が開く企業が増えておりますが、労使間で守らないといけない権利と義務について深く学んでいく過程で本来の距離感に生まれ変わり、右に掲げるいくつかの問題、課題、悩みを克服していく事が可能になります。お客様企業の抱えるお悩みに対し、診断から治療まで、解決のご支援をさせていただいております！

- ・就業規則作成の過程で労働者心理を理解できる
- ・社員の不安の根源が理解できる
- ・社員との距離感を適正に保てる
- ・トラブルに積極的に関与出来る
- ・トラブルから逃げずに立ち向かえる
- ・公明正大なジャッジメントが可能となる
- ・社長の求心力と吸心力が高まる
- ・社員のモチベーションの向上が図れる
- ・社風の改善が図れる
- ・社員の採用がうまくいく
- ・社員が辞めなくなる
- ・社内の生産性が向上する　等

【グループホームページ】 ぜひご覧ください！
＊コーポレートサイト https://brain-supply.co.jp/company/
＊サテライトサイト　https://brain-supply-jinjiroumu.jp/

YouTube 動画配信もしています。
YouTube ｼﾞｬﾊﾟﾝﾌﾞﾗﾝﾄﾞ　検索
＊「YouTube」「BS ジャパンブランド」と入力して検索してください！

株式会社ブレイン・サプライ
社会保険労務士法人ブレイン・サプライ
株式会社BSジャパンブランド

本社の所在する『東光電気工事ビル』の消費電力は、
１００％再生可能エネルギーでつくられています。

【本社】〒101-8350　東京都千代田区西神田1－4－5　東光電気工事ビル５階
TEL:03－6273－7437
FAX:03－6273－7438　info@brain-supply.co.jp

メール

賛助会員のご紹介（2021年11月・入会）

MercerMarsh Benefits

マーシュジャパン
エンプロイーヘルス＆ベネフィッツ

ご挨拶

日本では少子高齢化が進み、年々労働人口が低下していく中、病院の人手不足は深刻です。
また、メンタルヘルス不調により従業員が長期休業になった場合、どのようなサポート体制が求められるのでしょうか。従業員が安心して働けるように福利厚生制度を拡充することで、質の高いサービスを提供する優秀な人材の定着率を高め、持続可能な病院経営を実現します。

私どもマーシュジャパン エンプロイーヘルス＆ベネフィッツ部門は、お客様のニーズに合わせてカスタマイズした福利厚生制度を構築します。積極的に従業員の皆様にご活用いただくことにより、従業員の皆様が安心して業務を遂行し、企業価値向上、更なる貢献をいただける環境づくりを支援しています。

法人概要

マーシュ ジャパン株式会社
〒107-6216
東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

エンプロイーヘルス＆ベネフィッツチーム
エンプロイーヘルス＆ベネフィッツ本部
03-6775-6001（代表）
Jp.Info-MJ@marsh.com
www.marsh.com/jp

benefits that truly benefit

賛助会員のご紹介（2021年12月・入会）

株式会社 柴橋商会

法人概要

商　　号　：　株式会社 柴橋商会

本 社 所 在 地　：　〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-11-5 SGビル

代表取締役社長　：　柴橋　和弘

ご挨拶

皆さまのご愛顧により、柴橋商会は昭和３年に寝装具のリース会社として創業して以来、神奈川県下でナンバーワンのシェアを誇るまでに成長して参りました。

時を経て、寝装具やリネンサプライはもちろん、超高齢社会を見据えた介護・福祉・医療の分野において、お客さまから寄せられるあらゆるニーズに総合的に応えられるよう柔軟に、社会情勢に則した企業体へと進化し続けております。

今後も、ご提供するサービスにおいて、我々柴橋商会スタッフが大切にしている“お客さまとの信頼関係を構築する”という想いは、変化することはありません。

医療系のリネンサプライに特化している特徴を活かし、衛生的で確かなクオリティの商品をお届けする。お客さまの悩みに耳を傾け、共に問題解決に臨む。決して派手さはありませんが、ひとつひとつ誠実に、コツコツとやるべきことを積み重ねることにより、これからも皆さまの安心と信頼に繋がるサービスの提供に邁進していく所存です。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

賛助会員のご紹介（2022年４月・入会）

～心を込めた技術と安心～

山王総合株式会社

《業務内容》
・建築施工・土木施工・設備施工・設備管理・環境衛生管理・保安警備
・人材支援・医療機器設備・システム管理・研修施設の委託運営　　他

法人概要

山王総合株式会社
代表取締役　吉田　守
〒259-1142　神奈川県伊勢原市田中141

ご挨拶

今日の産業界はテクノロジーの進展により産み出される多彩な機器群と、それを軸とした多彩なサービスの展開。そして、その両者をしっかりとつなぐ高度な事業活動を推進していくという構図にあります。それには、会社全体や建物全体をひとつの大きなシステムと捉え、それを構成する人と機器、施設の有機的な結びつきを構築する技術が必要となります。

私たちはこうした視点から人と自然の調和を求め、ユーザーの事業環境の創造をサポートできる“人・環境・建設・設備・管理”を結ぶエンジニアリング・コンストラクションの体制を整えた先進の技術で、産業界の発展に貢献いたします。

賛助会員のご紹介（2022年４月・入会）

人間性豊かな活力のある地域社会の創造をめざす　総合ヘルスケア情報企業

JMP日本医療企画

会社概要

●会 社 名　株式会社日本医療企画
●設　　立　昭和55年（1980年）４月26日
●資 本 金　１００百万円
●代 表 者　代表取締役　林　諄
●本　　社　〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-20-5 S-GATE八丁堀
TEL：03-3553-2861（代）　FAX：03-3553-2886
URL：https://www.jmp.co.jp
●従業員数　100名（グループ社員総数）

代表取締役
林　諄［はやし・じゅん］

ご挨拶

わが社は、ヘルスケア分野の経営に関するリーディング企業として成長を遂げてきました。その原点は、「医療にも経営が求められる時代が必ず訪れる」という確信と、「新しい変化は自ら創り出していく」という揺るぎない信念にあります。

創業翌年に創刊した『ばんぶう（現・クリニックばんぶう）』は、時代を先取りした日本初の医療経営専門誌として評価されると同時に、わが社がモットーに掲げる**「挑戦」**と**「創造」**の象徴でもあります。

2010年からは医療経営を担う新しい資格**「医療経営士」**の養成事業に携わり、累計22,001人（22年10月）の資格認定試験合格者を輩出しました。次いで、**「介護福祉経営士」「栄養経営士」**という新資格を誕生させました。さらに介護福祉分野の人材育成のあり方を根幹から問い直すため**「介護福祉教育指導者養成講座」**の普及にも全面的に関わっております。

このように出版社でありながら教育事業を重視し拡大する理由は、これからの医療・介護の再構築には**「人づくり」**が必要不可欠だと考えているからです。企業のみならず個人までもが多くの制度に依存する“依存型社会”が形成されつつありますが、医療や介護も同様です。超高齢社会の到来で多くの問題を抱えていますが、それを解決すべき人材の不足が顕著に表れています。

こうした現状認識から、わが社は経営ビジョンのなかで、「21世紀の『**新たな地域社会づくり**』に積極的に参画」することを謳っています。

賛助会員のご紹介（2022年４月・入会）

日本光電工業株式会社

BEACON 2030

日本光電は、1951年の創業以来、「病魔の克服と健康増進に先端技術で挑戦することにより世界に貢献すると共に社員の豊かな生活を創造する」という経営理念のもと、ヘルスケアの課題に対し、革新的で高品質な医療機器で解決すべく挑戦してきました。これまでに開発した医療機器は、世界120ヵ国以上の医療現場でお使いいただき、多くの患者さんを救っています。

「医療現場に根差した技術開発力」「国内外の幅広い顧客基盤」「高品質の製品・サービスとそれを支える開発・生産・販売・サービス体制」「長年にわたって培われたブランド力」という強みを活かし、これからも病魔の克服と健康増進に先端技術で挑戦し、世界に貢献する企業として、患者さんや医療従事者にとっての価値を創造・提供し続けます。

2030年に向けた長期ビジョン「BEACON 2030」

Illuminating Medicine for Humanity

グローバルな医療課題の解決で、人と医療のより良い未来を創造する

近年、国境を越えた様々な社会課題に対応するためSDGs（持続可能な開発目標）が推進されています。医療では、先進国における高齢社会の進展や医療費の増大、新興国における基礎医療の不足や医療格差の拡大等、様々な課題が生まれ、複雑化しています。こうした背景の中、日本光電は医療機器メーカとしてこれまでに培ってきたヒューマン・マシン・インターフェース技術や医療機器開発の知見に加え、データを中心とした新たなデジタルテクノロジーを活用しながら、これまで以上に人に寄り添った独自のソリューションを創造していきます。

大きく変わりゆく未来の医療環境において、創業から大切にしてきた理念をもとに新たな価値を創造し、世界中の人と医療の未来を導く光となっていきたい。

私たちの強い想いを込め、2030年に向けた長期ビジョン『BEACON 2030』を策定しました。

日本光電は、医療現場と向き合うことで潜在的な課題を見出し、長年培ってきた独自技術と知見、そして最先端の技術を融合することで課題解決に資する価値あるソリューションを世界中のパートナーとともに創造し続けます。

法人概要

日本光電工業株式会社　代表取締役社長執行役員　荻野 博一

〒161-8560　東京都新宿区西落合1-31-4　https://www.nihonkohden.co.jp/

日本光電工業株式会社　南関東支店 支店長　森崎　稔

日本光電工業株式会社　首都圏支店 支店長　五味 昌泰

〒240-0005 横浜市保土ケ谷区神戸町134　横浜ビジネスパークノーススクエアⅠ　2階

賛助会員のご紹介（2022年４月・入会）

株式会社３Sunny

法人概要

●社　　名　株式会社３Sunny

●ミッション　医療介護のあらゆるシーンを技術と仕組みで支え続ける

●所 在 地　東京都中央区日本橋蛎殻町1-13-7　日本橋人形町プレイス２F

●代表者名　代表取締役　加藤　大典

●設 立 日　2016年７月20日

事業内容

SaaS型医療介護機関向けWEBサービスの提供
オンライン上での入退院調整業務を可能にするクラウドサービス「CAREBOOK」を
全国の医療介護機関向けに提供しています。
医療介護従事者が本来の専門領域に集中できる環境創りを支援しています。

＊CAREBOOKとは
CAREBOOKは、転院調整業務をWeb上で実施することができるクラウドサービスです。
現在の転院調整業務は、電話・FAXのみが連絡手段となっておりますが、折り返し電話の多発やFAX送信の準備業務などが業務課題となっております。
CAREBOOKは、Web上で病院間での連絡を取ることで上記のような業務負担を軽減し、より効率的に病院間の転院調整を行うことが期待できるサービスです。
2023年1月時点で、全国850以上、うち神奈川県内では130以上の医療機関でご利用実績がございます。

お問い合わせ先

電話：050-5305-4793（平日10-18時）
メール：ask@3sunny.net

編集後記

令和４年度を締めくくる神奈川県病院協会會報第53号をお届けします。

10年に一度とも言われる大変厳しい寒波が押し寄せている中、原稿締め切りを意識しながら編集後記を書いております。最初に令和４年度を振り返ってみたいと思います。

昨年は２月のロシアによるウクライナ侵攻という大きな出来事からスタートしました。現在も終わりを見ていない状況で、世界中を大きな渦に巻き込みながら今も戦争が継続しています。何といっても我々の最大の話題及び苦悩は、新型コロナウイルス感染症の大流行及び遷延と言わざるをえません。オミクロン株による第７波（令和４年７月１日から同年９月30日）では過去最大の約150万人に新規感染者を出し、死亡者は1300人を越えました。病院や介護施設そして家庭でクラスター感染及び甚大な被害を出しました。

昨年11月末から始まった第８波は現在も継続しており、新規感染者数こそ第７波と比較してやや少ない傾向ですが、若年者の軽症感染者数が多いながらも高齢者の死亡数が一段と増加する傾向に変化しています。そんな中、政府は新型コロナウイルス感染症を今年５月８日から第５類に引き下げる事を決定しました。今後はより明確なウイズコロナの社会になり、新しい社会構造を抱えながら一般の医療機関や高齢者施設は一層の努力が必要となる事が予想されます。今年度は当病院協会では令和６年４月から施行される医師の働き方改革が活発に論議されました。令和５年度は最終的な詰めがされると思います。

現在の日本は、前述のコロナ感染に加えて一時期の円安、原油高、物価高騰に悩まされており、あまり明るい話題はありません。しかしながら、昨年12月のFIFAサッカーワールドカップカタール大会では日本のサムライブルーが大活躍しました。ドイツ、スペインに歴史的な勝利をしてベスト16まで進出して私の如き、俄かサッカーファンも急造され日本中が歓喜に湧きました。多くの人達が励まされ、明るい気持ちになったと思います。

第53号は例年通り、長倉元会長の写真が表紙を飾りました。巫女秋沙「ミコアイサ」という渡り鳥だそうです。いつも素晴らしい写真を頂き、誠に有難うございます。巻頭言は副会長の菅先生にお願い致しました。大変タイムリーなタイトルで原稿を頂き感謝いたします。随想は８人の方々に執筆頂き、皆さんの視点から貴重な原稿が寄せられました。執筆頂いた先生方、本当に有難うございました。

今年度は最後に大きな式典を計画して

おります。それは新江良一前会長を偲ぶ会です。先生は思い半ばで令和３年１月１日に急逝されました。コロナ渦であった為、その先生を偲ぶ会がようやく本年２月１日に開催されます。在任中の新江先生の御功績を神奈川県病院協会の全体で称えて、偲びたいと思います。

最後になりましたが、本年も神奈川県病院協会の先生方のご健勝、及び益々のご活躍を祈念いたします。

令和５年１月27日　記

神奈川県病院協会　理事　鳴海　裕之

掲載広告一覧

公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会　神奈川県支部　　表　紙（裏）

公益社団法人神奈川県医師会
神奈川県医療従事者健康保険組合
株式会社柴橋商会
株式会社ブレイン・サプライ
損害保険ジャパン株式会社
株式会社ビー・エム・エル
アステラス製薬株式会社
山王総合株式会社
神奈川県
コンパッソ税理士法人
株式会社神医社
マーシュジャパン株式会社
望星サイエンス株式会社
三菱UFJ信託銀行株式会社
相模トライアム株式会社

公益社団法人 神奈川県医師会

（令和３年６月～令和５年６月）

会　長	菊　岡　正　和		
副会長	池　上　秀　明	竹　村　克　二	恵比須　　享
理　事	渡　辺　雄　幸	笹　生　正　人	渡　邊　知　雄
	高　井　昌　彦	久保田　　毅	石　井　貴　士
	小　松　幹一郎	古　井　民一郎	池　田　信　之
	田　村　哲　郎	川　田　剛　裕	小　竹　伊津子
	磯　崎　哲　男	渡　辺　雅　彦	
監　事	髙　橋　裕一郎	宮　川　弘　一	武　安　宣　明
議　長	水　野　恭　一		
副議長	丸　山　徳　二		

〒２３１－００３７
横浜市中区富士見町３－１
ＴＥＬ　（０４５）２４１－７０００
ＦＡＸ　（０４５）２４１－１４６４
E-mail　ishi-kai@kanagawa.med.or.jp

神奈川県医療勤務環境改善支援センター

◆医療勤務環境改善支援センターとは

医師や看護師等の医療従事者の離職防止や定着促進、医療安全の確保等を図るため、勤務環境改善に主体的に取り組む医療機関を支援する拠点です。

気軽にご相談ください！！
（相談無料）

- 診療報酬制度
- 医療制度・医師法制
- 組織マネジメント
- 経営管理
- 関連する助成金制度や補助金制度

など

- 宿日直許可取得支援
- 医師労働時間短縮計画作成支援
- 医師のタスク・シフト/シェア
- 就業規則の見直し
- 賃金制度の設計

など

専門的見地からのアドバイスやノウハウの提供！！

医業経営アドバイザー	医療労務管理アドバイザー

センター事務局

受付時間	8：30～17：00
電話番号	045-664-2522
ＦＡＸ	045-210-8858

医療労務管理相談コーナー

受付時間	9：00～17：00
電話番号	045-326-6947
ＦＡＸ	045-326-6967

悩んだらまずは、下記までご連絡ください！！

〒231-8588　横浜市中区日本大通1
神奈川県庁医療課内
045－664－2522　　FAX 045－210－8858
ouhuku-ishikakuho@pref.kanagawa.lg.jp

医業の独自性をいかしながら
健康保険事業を運営しています

当組合加入のメリット

充実した保健事業

健康診断の補助に加え、インフルエンザ予防接種補助、レジャー施設や宿泊施設など多彩な契約施設のご利用等、充実した保健事業を行っています。

神奈川県医療従事者健康保険組合

理事長　菊岡正和　　副理事長　吉田勝明　　常務理事　澤井博司

〒231-0033　横浜市中区長者町 3-8-11　リッシュアヴェニュー横濱関内 5 階
TEL：045-641-3400　　FAX：045-222-7718
URL：https://www.ijyu-kenpo.jp/

COMPASSO

クリニック経営の羅針盤として
― 開業前から院長のハッピーリタイアメントまで ―

長年にわたり培ってきた実績と、開業コンサルタント及び医業支援ブレーンとの提携により蓄積した豊富なノウハウを基盤として、医業経営コンサルタントを中心とした私共スタッフが新規開業支援から医業経営の発展、承継まで、全力を挙げサポート致します。

- ***医院開業***

受付事務から会計処理指導、融資支援など

- ***開業後支援***

毎月月次決算　資金繰り対策　税務調査対策　人事労務支援

- ***医療法人設立支援***

定款・寄付行為(案)の作成　設立認可申請書の作成　関係官庁等との打合せ　届出書類の作成など

- ***継続支援***

M & A　相続支援　ﾘﾀｲｱﾒﾝﾄﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ

コンパッソ税理士法人

東京本社 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 1-10-5 渋谷ﾌﾞﾚｲｽ 9F
TEL 03-3476-2233　FAX 03-3476-5958

東京練馬 〒176-0005 東京都練馬区旭丘 1-65-14
旭丘ｺﾞｰﾙﾄﾞ第 5 ﾋﾞﾙ 2F
TEL 03-5983-5555　FAX 03-5983-5556

高田馬場 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-3-2MF ﾋﾞﾙ 7F
TEL 03-6279-2570　FAX 03-6279-2587

横浜青葉 〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘 5-35-2
ｲﾝﾍﾞﾘｱﾙ M ﾋﾞﾙ 206
TEL 045-902-4079　FAX 045-902-4769

川　崎 〒211-0067 川崎市中原区今井上町 1-34 和田ﾋﾞﾙ 4F
TEL 044-733-1101　FAX 044-733-1102

川　越 〒350-0046 埼玉県川越市菅原町 11-2
白川ﾋﾞﾙ 3F
TEL 049-224-2233　FAX 049-224-2232

千葉流山 〒270-0111 千葉県流山市江戸川台東 3-90-2
TEL 04-7155-0050　FAX 04-7154-3335

千 葉 旭 〒289-2511 千葉県旭市イ 1729-1
TEL 0479-60-1122　FAX 0479-60-1123

長　野 〒380-0845 長野県長野市南長野西後町 1597-1
長野朝日八十二ﾋﾞﾙ 2F
TEL 026-217-2173　FAX 026-217-2179

まずはお電話、メールでお問い合わせ下さい！　E-mail : info@compasso.jp

ホームページに詳しい業務のご案内を掲載しております。　URL　: https://compasso.jp

リネン・寝具レンタルを始めとする
医療・介護関連各種サービス業務から食品関連業務までを

トータルサポート。

柴橋は、これからも
さまざまな分野から、
優しく、健やかな生活を
ご提供いたします。

(株)柴橋商会
医療施設・福祉施設の寝具リース・リネンサプライを核に様々な業務受託を展開、お客様のアウトソーシングニーズに多彩なサービスを提供しています。また、福祉用具のレンタルや販売、住宅改修サービスも展開しています。

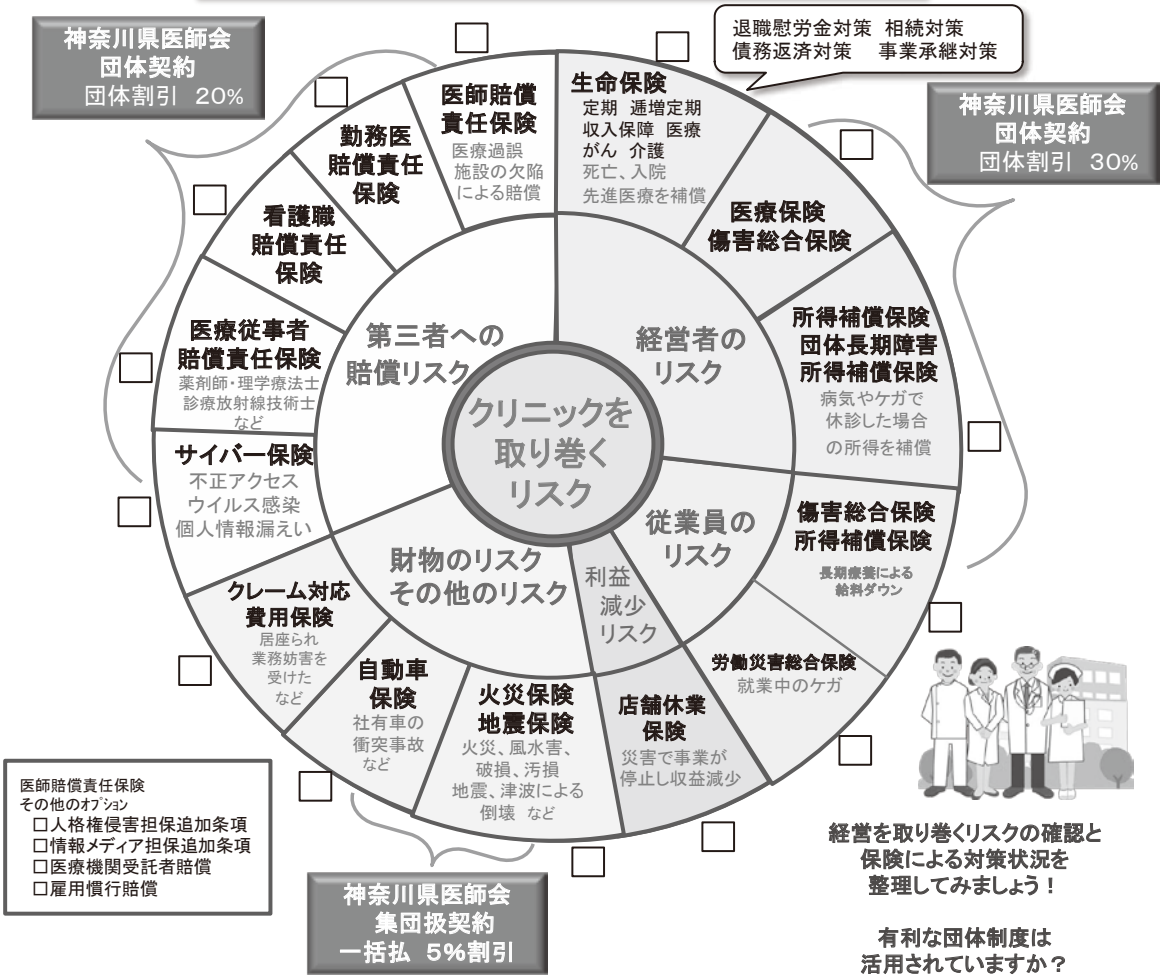
(株)シバフードサービス
医療施設・福祉施設の給食サービスを展開し、医療・介護サービスの快適な生活を支えています。

(株)シバスタッフ
医療施設・福祉施設への人材派遣・人材紹介を展開しています。

SHIBAHASHI

株式会社 柴橋商会 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-11-5 SGビル
http://www.shibahashi.co.jp　tel. 045-312-3231（代）

クリニックの安心　グルリ360度



有利な医師会団体制度のご活用をおすすめします
損害保険、生命保険は神医社にお任せください

＊このチラシは概要を説明したものです。取扱商品、各保険の名称や補償内容等は引受保険会社によって異なりますので、ご契約にあたっては必ず各社商品パンフレットおよび「重要事項等説明書　契約の概要のご説明・注意喚起情報のご説明」などをご覧ください。また、詳しくは「普通保険約款・特約集」をご用意しておりますので当社または引受保険会社までご請求ください。集団扱の対象となる種目、集団扱の対象となる方の範囲、集団扱特約失効時の取扱いについては当社までお問い合わせください。

＊集団扱一括払　５%割引は地震保険には適用されません

＜取扱代理店＞
神奈川県医師会指定保険代理店

株式会社　神医社（ジンイシャ）　（受付時間　平日の午前９時から午後5時まで）

〒231-0037　横浜市中区富士見町３－１　神奈川県総合医療会館４階

ＴＥＬ（０４５）２３１－７７５９　ＦＡＸ（０４５）２４３－５４５１

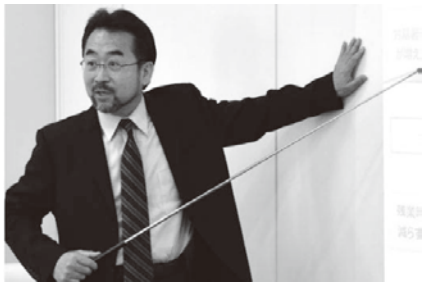
Ｅ－mail：jin-isya@jin-isya.co.jp　ＵＲＬ：https://jin-isya.co.jp

＜引受保険会社＞　損害保険ジャパン（株）・あいおいニッセイ同和損害保険（株）・東京海上日動火災保険（株）
三井住友海上火災保険（株）　・SOMPO ひまわり生命保険（株）

SJ20-02352 2020/05/29　22-TC06783（2022 年 11 月）（2020 年 4 月承認）B20-100134

株式会社ブレイン・サプライ
社会保険労務士法人ブレイン・サプライ
株式会社BSジャパンブランド

HP https://brain-supply.co.jp/



＜経営ビジョン＞

1. 我々は全国の中堅中小企業の経営者とその社員を元気にし、活性化することを目指します。
2. 「法律を遵守」すると共に、「法律からお客様を守る」ことが我々の使命です。
3. 最適な解決法を導く「企業ドクター」として、“時間創出”と“安心の提供”を目指します。

＜会社概要＞

■2009 年　5 月　株式会社ブレイン・サプライ設立。資本金 1,000 万円。
人事労務を主体とした総合コンサルティング会社です。
■2011 年　3 月　東池袋から西神田（水道橋）の事務所に移転
■2012 年　4 月　名古屋事務所開設
■2014 年　4 月　関西事務所開設
■2016 年　5 月　西神田新本社に移転
■2016 年 10 月　社労士事務所ブレイン・サプライから社会保険労務士法人ブレイン・サプライへ法人化
■2017 年 10 月　札幌事務所開設
■2019 年　6 月　株式会社ＢＳジャパンブランド設立
■2023 年　1 月　現在　クライアント数は北海道～鹿児島まで全国に累計約 1020 社以上

自社主催のオンラインセミナー・研修を月 2～4 回実施。
人事・労務に関わる相談が約 8 割。更に問題解決後は税・財務、相続・事業承継、人事制度、BCP、経営計画、社員研修、マーケティング、定款変更等の相談に発展するケースが多く、社内の経験豊富な各専門家が対応し好評を得ている。

２０２３年１月現在　役員２名、スタッフ２９名
【内、社会保険労務士１１名（特定社会保険労務士１名）、産業カウンセラー３名、ＦＰ技能士３名、キャリアコンサルタント４名】

患者様・医療機関様双方に安心を

2020年3月より東京大学医学部附属病院でサービスイン
2020年４月から
入院時の連帯保証人の手続きが複雑になりました

入院医療保証サービスのご案内

YouTube 動画はこちら！

YouTube ｼﾞｬﾊﾟﾝﾌﾞﾗﾝﾄﾞ 検索

BSジャパンブランド(ブレイン・サプライグループ)

この複雑な手続きを
医療機関様の手数料のご負担なく、簡単に

【サービス提供会社：ナップ賃貸保証株式会社】

お問い合わせ 株式会社ブレイン・サプライ （担当/細谷）
〒101-8350　東京都千代田区西神田１－４－５　東光電気工事ビル５階
TEL：０３－６２７３－７４３７
FAX：０３－６２７３－７４３８　info@brain-supply.co.jp
メール

GLTD制度のご案内

Group Long Term Disability ／団体長期障害所得補償保険

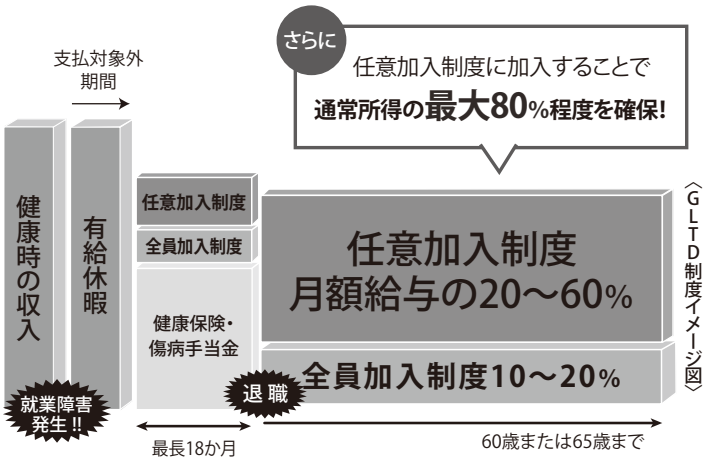
コロナ感染症対策「安心のひとつ」として

新型コロナウイルス（COVID-19）発生後、病院に従事する職員を取り巻く環境は大きく変化してきています。
〇極度の緊張を強いる職場環境　〇将来や社会への漠然とした不安感
そして、慢性化した人手不足に加え、人材の流動化は一層高まると考えられます。
病院経営にとっては優秀な人材の定着率向上と採用はさらに重要になります。

GLTD制度とは…

職員のみなさまが、万が一病気やケガで長期間にわたり就業障害または一部就業障害となった場合に、一定の収入が定年まで補償される制度です。
GLTD制度を導入することで、病気やケガの際に生活の心配をすることなく療養に専念できる環境を創り、早期復職を支援します。

※GLTD制度は、勤務先がGLTD制度を導入いただいた場合に申込いただけます。



GLTD制度の検討について

日本病院会「医業税制委員会」の調べでは、アンケート回答病院のうち20%強がすでにGLTD制度を導入をしていると回答されています。
一般企業はもとより病院においても欠かせない福利厚生制度として定着しつつあるGLTD制度です。

▼従業員の病気、ケガによる長期休業の所得補償等特別措置（団体長期所得補償保険等）負担の有無

回答	病院数	割合
あり	68	21.2%
なし	236	73.5%
削減した	1	0.3%
不明	6	1.9%
無回答	10	3.1%

日本病院会「医業税制委員会」
平成30年度医療人材確保と育成に係る費用について 会員病院調査

MARSH

「GLTD制度」はマーシュジャパンよりご案内させていただいております。

マーシュ（本社・米国ニューヨーク、創立1871年）は、130ヵ国以上で展開するリスク・アドバイザリーと保険仲介の世界的なリーディングカンパニーです。お客様のさらなる成長機会を後押しするような戦略的なリスクマネジメントの導入を支援します。

このようなときだからこそ、

「新しい福利厚生」

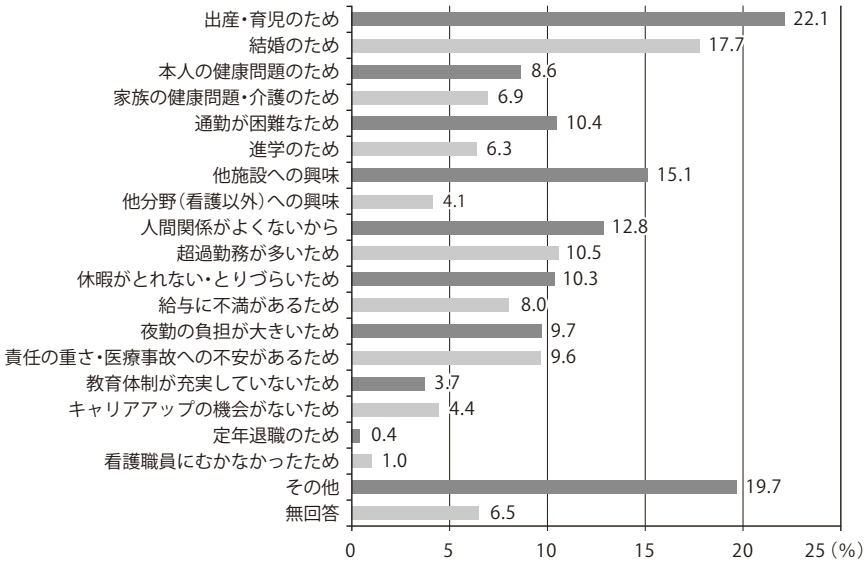
が必要です。

仕事に「やりがい」をもって、
職場の「仲間」とともに、
この先も頑張って働いていたい。
だけど、病気とかケガで働きたくても
働けないときは？

働けないということは

病気やケガ、そしてメンタル的な疾患は、誰にでも、突然降りかかってくるものです。その結果、長期間仕事を休まなくてはならないという事態は、決して他人事ではありません。そのうえ、もしも長期休職の末に給与の支払いまでとまってしまったら私たちは、安心して療養に専念できるでしょうか？また、職員の方々のこうした状況に、対応する病院（人事部・事務部門）側にしてもそれを個人の責任や問題だと割り切れるでしょうか？

図24　退職理由　（主な理由3つまで）（n＝11.999）



厚生労働省『看護職員就業状況等実態調査結果』

＜職場を離脱するケース＞

「出産・育児・結婚」など自身の
環境変化が多いものの、
労働環境に起因するケースや、

病気（メンタル含む）、
ケガによる健康問題や
親の介護

による退職が見受けられます。

頑張った職員が傷病で倒れたとき・・・
やむを得ず病院を去っていく方へ
何のサポートもできないとしたら、
周りの職員の大きなストレスとなり、
虚無感や喪失感を覚え、
職務のモチベーションが低下することも・・・

GLTD制度の
導入については
こちらまで

取扱代理店
マーシュ ジャパン株式会社 エンプロイーヘルス＆ベネフィッツチーム
〒107-6216 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
TEL 03-6775-6001　担当：栗坂・太田（平日の午前9時から午後5時まで）

引受保険会社
損害保険ジャパン株式会社
横浜支店　営業第一課
TEL 045-661-2713（平日の午前9時から午後5時まで）

本ご案内は概要を説明したものです。詳しい内容やGLTD制度の導入については取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。

SJ22-12697（2022.12.23）

望星サイエンス

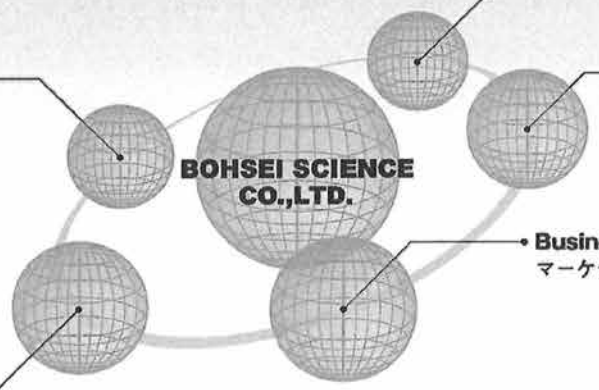
「健康で快適な人生」をめざして

社員一人一人の英知と知識を持って、
未来の扉を開くお手伝いをさせていただきます。

当社は昭和52年創立以来、一貫して優秀な医療器械、医療用具、医薬品、試薬などの医療用品全般を供給することにより、社会全体のニーズに答えるとともに、今何が望まれているか、何をすべきかを常に考え実行に移す事を第一としています。

英知と知識の向上を図ると共に社会に貢献する意識を常に持ち、企業の存在意義を全うするため、長期的視野に基づいた事業展開をすすめております。

当社の未来は医療とともに人類の"無限の発展"を望んでおります。



営　業
Sales Department
先端医療材料の供給
医療機器・医療用具
医療用消耗品・
医薬品・試薬等の供給

院内サービス
Shop & Health care
院内売店運営
衛生材料・介護用品・雑貨
新聞雑誌・飲料品の販売

Business Development
マーケティング　事業開発

ホスピタルロジスティック
Hospital Logistics
院内物流の合理化
過剰在庫をなくし在庫管理の
明確化・効率化

物流センター
Distribution Center
配送業務の効率化

会社概要

商　　号	望星サイエンス株式会社
設立年月日	昭和52年（1977）6月29日
代表取締役	渡部　重行

http://www.bousei.co.jp

取扱商品

医療機器	X線装置、CT、MRI、ICU、脳波計、心電計 等
医療器具	治療・検査用器具 整形外科用各種インプラント器具 手術用工具　等
医療用消耗品	ディスポーザブル製品、衛生材料 等
介護用品	ベッド、車椅子、紙おむつ 等
什器備品	机、椅子 等
事務用機器	コンピュータ及び周辺機器 等

業務内容

- 医療機器、医療器具、医療消耗品、医薬品他の販売
- 計測機器（電子機器、各種計測器及び部品）の販売
- 事務機器及び事務用品の販売
- 売店の設計及び運営管理
- 病院の設計及び運営管理
- 薬局の設計及び運営管理
- 病院・医院・老健施設の開院サポート業務
- 物流管理サポート業務

望星サイエンス株式会社

【本　　社】〒113−0033
東京都文京区本郷5丁目5番14号
TEL.03（3818）6531（代）
FAX.03（3814）7720

【整形特販課】〒243−0036
神奈川県厚木市長谷260番29号
TEL.046（250）4101（代）
FAX.046（250）4104

【神奈川営業所】〒224−0033
神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎東4丁目7番19号
TEL.045（948）0055（代）
FAX.045（948）0618

1回の臨床検査で救われる「いのち」がある。

臨床検査事業

臨床検査 / 遺伝子検査 / 予防医学 / 治験検査

医療情報システム事業

電子カルテシステム販売・保守

関連事業

食品衛生検査 / 環境検査 / 歯科検査

臨床検査は健康な未来への道しるべ

BML

バイオとシステムで医療に貢献します

株式会社ビー・エム・エル

http://www.bml.co.jp/

本　　社　〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3　TEL.03-3350-0111（代表）　FAX.03-3350-1180

BML総合研究所　〒350-1101 埼玉県川越市的場1361-1　TEL.049-232-3131（代表）　FAX.049-232-3132

神奈川県病院協会　会員の皆さまへ

抽選で総計300名さま

お取引先社員・職員さま専用メールマガジン会員限定

サンクスキャンペーン

＜キャンペーン期間＞

2023年1月10日（火）～2023年6月30日（金）

第1回・第2回の賞品はこちら♪

A賞 各回30名さま

ピーターラビット™
オリジナル
モコモコボアブランケット

B賞 各回20名さま

ピーターラビット™
オリジナル
チェック柄トートバッグ

※写真はイメージです。　BEATRIX POTTER™ © Frederick Warne & Co., 2023

賞品は2か月ごとに変わるので、ぜひ専用サイトをチェックしてください。

ご応募はこちらから!

三菱UFJ信託銀行 検索
または
www.tr.mufg.jp

トップ画面上部の「お取引先社員・職員さま」ボタンをクリック

ユーザーID：ishi
パスワード　：doctor

ログイン後、バナーをクリックしてください。

スマートフォンの方はこちらから

「お取引先社員・職員さま専用メールマガジン」を配信しています!

◆◇たとえば、こんな情報をご案内しています◇◆

皆さまの資産形成に役立つコラムなど

皆さま限定!お得な期間限定のキャンペーン

不動産や相続など、信託銀行ならではの情報も!

※お勤め先等によってはお使いいただけないキャンペーン等もございますのでご了承ください。

各種商品・ご利用条件・最新情報等につきましては専用サイトで必ずご確認ください。

【キャンペーンご利用にあたってのご留意事項】
●本キャンペーンお申込みにあたり、【お取引先社員・職員さま専用メールマガジン】(以下メールマガジンといいます)へのご登録が必須となります。メールマガジン登録は、本キャンペーンのご応募をもって自動登録されます。●ご応募はお一人さま各回1回限りです。●ご希望賞品は「A賞」もしくは「B賞」をご選択ください。●各回応募開始の翌月末までに抽選を行い、翌々月末をめどに賞品を発送いたします。
●当選の発表はお取引先社員・職員さま専用サイト内で発表の上、当選された方にお送りする当選メール内記載の入力フォームから必要事項をご入力いただきます。●賞品の発送は日本国内に限ります。●以下の場合、当選は無効になります。・当選番号ご案内メール配信前にメールマガジン会員を退会(配信停止)された場合・当選番号ご案内メールが届かなかった場合・ご回答期限までに賞品の送り先を当選メール内記載の入力フォームからご入力いただけなかった場合・転居先不明、長期不在などにより賞品をお届けできない場合 ●お客さまのご都合による交換・返品はお受けできません。●本キャンペーンはお客さまへ事前に告知することなく、内容の変更およびお取り扱いを継続または終了する場合がございます。●賞品は事情により同等のプレゼントへ変更する場合がございます。●三菱UFJ信託銀行グループの社員および家族は対象外です。

三菱UFJ信託銀行　　世界が進むチカラになる。 MUFG

「安心・豊かな社会」を創り出す信託銀行 *Create a Better Tomorrow*

2023年1月10日現在

まだないくすりを
創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。
世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。
明日を変える一錠を創る。
アステラスの、しごとです。

明日は変えられる。
astellas
アステラス製薬株式会社
www.astellas.com/jp/

●●● STC 21世紀のバリュークリエイター

BEST VALUE,
BEST AMENITIES

価値有るサービスから快適な生活環境を 生み出すチカラ、
それが私たちSTCです。

相模トライアム株式会社
ISO 14001 ISO/IEC27001 認証取得
神奈川県相模原市中央区鹿沼台1丁目9番15号
TEL 042(752)2652(代) FAX 042(752)1124
URL:http://www.bm-stc.co.jp

人と環境と技術を結ぶ
トータルネットワークシステムにより
あらゆるニーズにお応えします

＜業務内容＞
・建築施工 ・土木施工 ・設備施工
・設備管理 ・環境衛生管理
・保安警備 ・人材支援
・医療機器設備 ・システム管理
・研修施設の委託運営　　他

～ 心を込めた技術と安心 ～

山王総合株式会社

本社 〒259-1142 神奈川県伊勢原市田中141　TEL0463-95-7700　FAX0463-95-9220
www.sanno-sogo.co.jp
東海大学病院支店/大磯支店/八王子支店/湘南支店/県央支店/横浜支店/埼玉支店/札幌支店

公益社団法人神奈川県病院協会會報
〈第53号〉

発　行　公益社団法人神奈川県病院協会　会長　吉田　勝明
〒231-0037　横浜市中区富士見町3-1　神奈川県総合医療会館４階
TEL 045-242-7221（代）
発行日　2023年３月９日
編集者　広報委員会
長堀　　薫　太田 史一　鳴海 裕之　三松 興道
平林 広康　髙野 昇平　武田 朋久
印刷所　中川印刷株式会社
〒231-0036　横浜市中区山田町7-1　TEL 045-261-2101